

# 重要安全情報

製品の使用上、安全を確保し損害を防止するための注意事項を、以下に記載してあります。製品をお使いになる前に必ずお読みください。

## 誤った使い方をすると生じる危害や損害の程度

△ **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

△ **注意**：人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。
- 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を示します。

## 表示の例



高温注意

△記号は警告や注意を示します。

具体的な警告・注意事項は△の中に絵で示します。



分解禁止

○記号は禁止の行為を示します。

具体的な禁止内容は○の中に絵で示します。



プラグを抜く

●記号は必ず行うことで、強制する行為を示します。

具体的な強制内容は●の中に絵で示します。

# 安全にお使いいただくために.....

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みのうえ、お守りください。

## ⚠ 警 告



定格電圧外禁止



タコ足配線禁止



ぬれ手禁止



禁止



改造禁止



分解禁止



プラグを抜く



プラグを抜く



定期清掃



禁止



水没時の水洗い

- ・本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。  
火災、感電の原因となります。

- ・電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしない。  
火災の原因となります。

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となります。

- ・電源コードを傷つけたり、破損しない。  
重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。

- ・本機を改造しない。  
火災、感電の原因となります。

- ・本取扱説明書で取り外す手順を説明した部位以外は、分解したり触れたりしない。  
内部に電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

- ・万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社 MX-1000/3000(コネクテッドタイムレコーダー)に関するお問い合わせ窓口へ連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

- ・万一、異物(金属片、水、液体)が本機の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社 MX-1000/3000(コネクテッドタイムレコーダー)に関するお問い合わせ窓口へ連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

- ・電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接触部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取る。  
ほこりがたまり、火災の原因となります。

- ・本機には、同梱された AC アダプターを使用する。  
異なるものを使用した場合、火災、故障の原因となります。  
また、他製品に同梱された AC アダプターを使用しないでください。

- ・本機が災害等で水没した場合、電気部品・配線は、必ず新しいものと交換すること。  
交換しないと火災、感電の原因となります。



水没時の水洗い

- ・水につかった電気部品を再使用する場合は、専門の修理業者に依頼すること。

感電・けがの原因となります。



スプレー禁止

- ・可燃性のスプレー（ほこり除去スプレー、殺虫スプレー、除菌スプレーなど）を噴霧しない。

火災・爆発の原因になります。



有機溶剤禁止

- ・有機溶剤（ベンジン、シンナー、除光液など）を使用しない。

変形・溶解して、感電や火災の危険があります。



## 注 意



設置場所

- ・本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。

万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。



プラグを持って抜く

- ・電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く。

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- ・本機を移動させる場合は、電源プラグを抜く。

電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



差込

- ・電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。また、痛んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないこと。

火災、感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- ・長時間使用しない場合は、安全のために電源プラグをコンセントから抜くこと。

電源プラグにほこりがたまり火災、感電の原因となることがあります。



使用禁止

- ・コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないこと。

火災の原因となることがあります。



使用禁止

- ・ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。

落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。



使用禁止

- ・すべりやすい台の上に置かないこと。

印字の振動でずれ落ちてけがの原因となることがあります。



水ぬれ禁止

- ・本機の上に水の入った容器やピンなどの金属物を置かない。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があるような場所、ほこりの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。  
火災、感電の原因となることがあります。



固定用具使用

- ・本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。  
落下してけがの原因となることがあります。



禁止

- ・本取扱説明書の中には、弊社または弊社指定代理店が行う作業の説明がありますが、その作業は絶対お客様が行わないこと。  
感電、けがの原因となることがあります。



プラグを抜く

- ・リボンカセットを交換するときは、上ケースを外した後、電源プラグをコンセントから抜く。  
そのまま交換するだけがや感電の原因になることがあります。



リボンケースを持つ

- ・リボンカセットを交換する場合は、必ずリボンケースを持つこと。  
ほかの部位を持つとインクで手や衣服を汚す原因となることがあります。



巻き込み注意

- ・カード挿入口に髪の毛、スカーフ等が入らないように注意すること。  
カード搬送ローラーに巻き込まれて、けがの原因となることがあります。



巻き込み注意

- ・リボン交換の場合は、プリンターのギアなどに指、髪の毛、スカーフ等が巻き込まれないように注意すること。  
けがの原因となることがあります。



厳守

- ・プリント基板のコネクター部分や部品面には直接手を触れないこと。  
静電気が流れ、部品を破壊する原因となります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本機の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属性のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。



禁止

- ・本機は精密部品です。以下のことをすると故障の原因になります。  
落としたり、衝撃を加えないでください。

(特に電源がONになっているときは絶対に振動や衝撃を加えない)。

- 製品の上に水などの液体や、クリップなど小部品を置かない。
- 重いものを上にのせない。
- そばで飲食・喫煙などをしない。

## 注 意

### ●無線 LAN の注意

- 1) 本機には無線機能が搭載されており、心臓ペースメーカーなどの医療機器に影響を与えるおそれがあります。その様な場所で使用したい場合には、承諾を得てから使用してください。
- 2) 本機を電子レンジの近くでは使用しないでください。電子レンジを使用したときに、電磁波の影響を受けて無線通信が妨害される恐れがあります。
- 3) 本機は 2.4GHz 帯を使用しています。同一周波数帯では電子レンジ等の産業・化学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を必要としない特定省電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
  - ・ 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  - ・ 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
  - ・ その他、本機から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉など何かお困りのことが起きたときは、弊社販売店までお問い合わせください。

# 目次

重要安全情報	44
保証とアフターサービス	45
安全にお使いいただくために	45
目次	45
MX-1000/3000 の概要	1
MX-1000/3000 でできること	1
時刻同期機能のご利用について	5
集計方式の選択	6
時間集計の解説	7
1日の時間集計（処理日）	7
時間集計の基本	7
集計印字と集計方式	7
集計方式と締日の関係	9
時刻まるめ（MX-1000）	10
時刻まるめ（MX-3000）	11
時間数まるめ	13
印字段切換時刻と	
印字段切換モード	13
共通設定	14
時計の合わせかた	14
日付の合わせかた	15
サマータイムの設定	16
締日の変更	18
印字段切換モード／印字段切換	
時刻の設定	19
曜日印字モードの変更	20
操作音の変更	21
徹夜退勤の検知・バックライト	
消灯時刻の設定	22
集計印字と集計方式の設定	23
1日の時間数印字の設定	25
累計時間数印字の設定	27
最大打刻数の設定	28
パスワードの設定	29
電波時計による時刻同期の	
強制実行方法	31
設定内容の印字のしかた	32
設定内容の初期化のしかた	33
全データの消去のしかた	34
レコーダー登録情報初期化のしかた	35
バックライト標準色の変更	36
印字欄自動判定設定の変更	37
時間集計の設定	38
社員設定	38
まるめ方式／まるめ単位時間の設定	38
始業時刻・終業時刻の変更	40
早出時間の設定	41
深夜残業帯の設定	42
社員休憩時間帯の設定	43
勤務インターバル印字の設定	44
時間帯パート設定	45
まるめ方式／まるめ単位時間の設定	45
パート時間帯の設定	47
時間帯パート休憩の設定	48
フリーパート設定	49
まるめ単位時間の設定	49
所定内基準時間数の設定	50
フリーパート休憩の設定	51
設定内容エラー	53
日常の操作	55
カードの差し込みかた	55
日常のお手入れ	56
従業員の操作	57
出勤・退勤の操作	
（集計印字するカードの場合）	57
出勤・退勤の操作	
（集計印字しないカードの場合）	58
徹夜勤務時の操作（退勤打刻時）	59
「特別日」勤務時の操作	
（出勤時）	61
日々の便利機能	63
日ごとの集計印字	63
時刻が改ざんされた場合の印字	
（MX-1000）	64
時刻が改ざんされた場合の印字	
（MX-3000）	66
社員総残業時間・パート総労働	
時間の表示（表示のみ）	67
毎月の操作	68
カードの登録	69
前月集計印字のしかた	74
当月集計印字のしかた	76
カード登録のクリア	77
設定、集計カードを紛失した場合	79
こんなときには	81
エラーコード	82
印字が薄くなってきたら	86
設置のしかた	88
設置場所のご注意	88
設置のしかた	88
壁掛けのしかた	89
電源について	92
付録	94
MX-1000/3000 設定シート	94
マーク印字一覧	97
設定内容の印字例	98
用語集	100
仕様	101

# MX-1000/3000 の概要

## MX-1000/3000 でできること

本機は、打刻印字と時間集計印字または打刻印字のみの運用ができます。

1. タイムカードは専用の MX・MRX カードを使用します。(別紙「ご使用前に」参照)
2. 1日の時間集計印字 (25 ページ参照)  
退勤打刻をした際にタイムカード第 5 欄に 1 日の時間数印字の設定ができます。  
集計方式が社員では 1 日の残業時間数、パートでは 1 日の実働時間数の印字を「する／しない」から設定選択できます。
3. 累計時間集計印字 (27 ページ参照)  
退勤打刻をした際にタイムカード第 6 欄に累計時間数印字の設定ができます。  
集計方式が社員では 1 日の累計残業時間数、パートでは 1 日の累計実働時間数の印字を「する／しない」から設定選択できます。
4. 2種類の締日に対応  
個人の利用するタイムカード毎に最大 2 種類まで締日を設定できます。  
※締日 2 を使う場合は、必ず「カード登録」の運用が必要です。(68 ページ参照)
5. 時間数集計は勤務形態に合わせて「集計方式」を設定選択することができます。  
また、集計印字しない(打刻記録のみ)設定も選択することができます。  
(6 ページ参照)

### 集計方式と 1 日の最大打刻印字数の関係

MX-1000 (2 ページ参照)

- ① 集計方式(社員/時間帯パート/フリーパート)：最大 2 打刻／日で時間集計をします。
- ② 集計方式(集計印字なし)：最大 8 打刻／日

MX-3000 (3 ページ参照)

- ① 集計方式(社員/時間帯パート/フリーパート)：最大 4 打刻／日で時間集計をします。
- ② 集計方式(集計印字なし)：最大 8 打刻／日

どちらの機種も、3 つの集計方式から 2 種類まで組み合わせることができます。

## MX-1000 の設定とタイムカード利用方法の組み合わせ

設定内容					タイムカードの印字内容						使用人数
集計印字	集計方式	日次 集計	累積 集計	最大 打刻数	1 欄	2 欄	3 欄	4 欄	5 欄	6 欄	上限
①する	④社員 ⑤時間帯パート + 社員 ⑥フリーパート + 社員	ON	ON	2	出勤 時刻	無し	無し	退勤 時刻	集計 印字	累積集 計印字	60 人
		ON	OFF	2	出勤 時刻	無し	無し	退勤 時刻	集計 印字	無し	
		OFF	ON	2	出勤 時刻	無し	無し	退勤 時刻	無し	累積集 計印字	
		OFF	OFF	2	出勤 時刻	無し	無し	退勤 時刻	無し	無し	
②併用	⑦社員 ⑧時間帯パート ⑨フリーパート	ON	ON	2	出勤 時刻	無し	無し	退勤 時刻	集計 印字	累積集 計印字	
		ON	OFF	2	出勤 時刻	無し	無し	退勤 時刻	集計 印字	無し	
		OFF	ON	2	出勤 時刻	無し	無し	退勤 時刻	無し	累積集 計印字	
		OFF	OFF	2	出勤 時刻	無し	無し	退勤 時刻	無し	無し	
	集計なし	(無効)	(無効)	4	出勤 時刻	外出 時刻	戻り 時刻	退勤 時刻	無し	無し	150 人
③しない	集計なし	(無効)	(無効)	4	出勤 時刻	外出 時刻	戻り 時刻	退勤 時刻	無し	無し	

アンダーラインの項目は初期値を表します。

## MX-3000 の設定とタイムカード利用方法の組み合わせ

設定内容					タイムカードの印字内容						使用人数	
集計印字	集計方式	日次集計	累積集計	最大打刻数	1欄	2欄	3欄	4欄	5欄	6欄	上限	
①する	④社員 ⑤時間帯パート + 社員 ⑥フリーパート + 社員	ON	ON	4	出勤時刻	外出時刻	戻り時刻	退勤時刻	集計印字	累積集計印字	60人	
		ON	OFF	4	出勤時刻	外出時刻	戻り時刻	退勤時刻	集計印字	無し		
		OFF	ON	4	出勤時刻	外出時刻	戻り時刻	退勤時刻	無し	累積集計印字		
		OFF	OFF	4	出勤時刻	外出時刻	戻り時刻	退勤時刻	無し	無し		
②併用	⑦社員 ⑧時間帯パート ⑨フリーパート	ON	ON	4	出勤時刻	外出時刻	戻り時刻	退勤時刻	集計印字	累積集計印字	150人	
		ON	OFF	4	出勤時刻	外出時刻	戻り時刻	退勤時刻	集計印字	無し		
		OFF	ON	4	出勤時刻	外出時刻	戻り時刻	退勤時刻	無し	累積集計印字		
		OFF	OFF	4	出勤時刻	外出時刻	戻り時刻	退勤時刻	無し	無し		
		(無効)	(無効)	4	出勤時刻	外出時刻	戻り時刻	退勤時刻	無し	無し		
		(無効)	(無効)	8	出勤時刻	外出1時刻	戻り1時刻	外出2時刻	無し	無し		
		(無効)	(無効)		戻り2時刻	外出3時刻	戻り3時刻	退勤時刻				
③しない	集計なし	(無効)	(無効)	4	出勤時刻	外出時刻	戻り時刻	退勤時刻	無し	無し	150人	
		(無効)	(無効)	8	出勤時刻	外出1時刻	戻り1時刻	外出2時刻	無し	無し		
		(無効)	(無効)		戻り2時刻	外出3時刻	戻り3時刻	退勤時刻				

アンダーラインの項目は初期値を表します。

6. 徹夜退勤の検知（22 ページ参照）  
出勤打刻後に徹夜ボタンを押さずに印字段切換時刻をまたいだ場合、エラー警告として一旦タイムカードを排出する機能の設定ができます。（初期値：検知しない）  
※印字段切換時刻は 0:00～23:59 の範囲で設定ができます。
7. 勤務インターバル警告印字（44 ページ参照）  
集計方式が社員で退勤打刻した際に、退勤時刻から勤務インターバル間隔を加算した時刻が翌日の始業時刻を越えると、警告としてタイムカードの該当日に[#]マークを印字できます。（初期値：印字しない）
8. 電波時計とインターネット接続による時刻同期機能  
本機では、電波時計による時刻同期とインターネット接続（NTP）による時刻同期の機能が備わっています。  
インターネット接続していない場合は、電波時計による時刻同期機能が動作します。  
※ NTP の利用にはコネクテッドツールとの接続が必要です。
9. コネクテッドツール接続機能  
弊社のクラウドサービス「コネクテッドツール」に接続し、時刻同期・スマホや PC での打刻確認・印字記録のデータ化などを行うことができます。  
本サービスを利用する場合は、別途会員登録（登録・利用無料）が必要となります。  
設定方法は別紙の「ご使用前に」を参照ください。

## 時刻同期機能のご利用について

電波時計による時刻同期機能の探索タイミングは以下のとおりです。

- 本機の電源を入れたとき（15分間探索します）
- 本機の電源を入れている状態で、AM1:15～AM4:00まで

本機に表示されている時刻がその場所の正規標準時刻から±15分を超える場合、時計信号の電波探索は行いますが、時刻を自動修正することはできません。このような場合、共通設定カード3の「電波時計による時刻同期」操作を行なうか、時計設定カードで時計を合わせる操作を行ってください。

インターネット接続による時刻同期機能の実行タイミングは以下のとおりです。

- 本機の電源を入れている状態で、Wi-Fi接続がOFF状態からON状態に変化し、インターネット接続ができたとき
- 本機の電源を入れている状態で、AM0:00～AM0:59の間に1回

電波時計は、日本標準時を載せた電波を受信して、時刻を自動修正する時刻同期機能です。本機は内蔵アンテナで時計信号の電波を受信します。電波の状況は表示器に表示されます。

電波時計による時刻同期機能では40KHz（福島局）と60KHz（九州局）の2箇所の標準電波に対応し、どちらかで受信しやすい電波を自動的に選択して受信しています。ただし、天候や設置場所、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。

電波時計による時刻同期機能を使用する場合、以下のような場所では時計信号の電波を受信できません。ご注意ください。

- 大きな建物内、高いビルの間、地下、窓がないビル
- 頭上に送電線がある場所、テレビ局、鉄道架線がある場所
- テレビ、パーソナルコンピューター(PC)、冷蔵庫、FAXなどの家電やOA機器の近く
- スチール机など金属製家具の近く
- 建設工事現場、空港、交通量の多い道路など、強い干渉が発生する場所
- 車両、鉄道車両、飛行機の中

### メモ

電波時計による時刻同期中（AM1:15～AM4:00）は表示器のバックライトが消灯しますが、故障ではありません。時刻同期が成功するか、AM4:00を過ぎるとバックライトが点灯します。

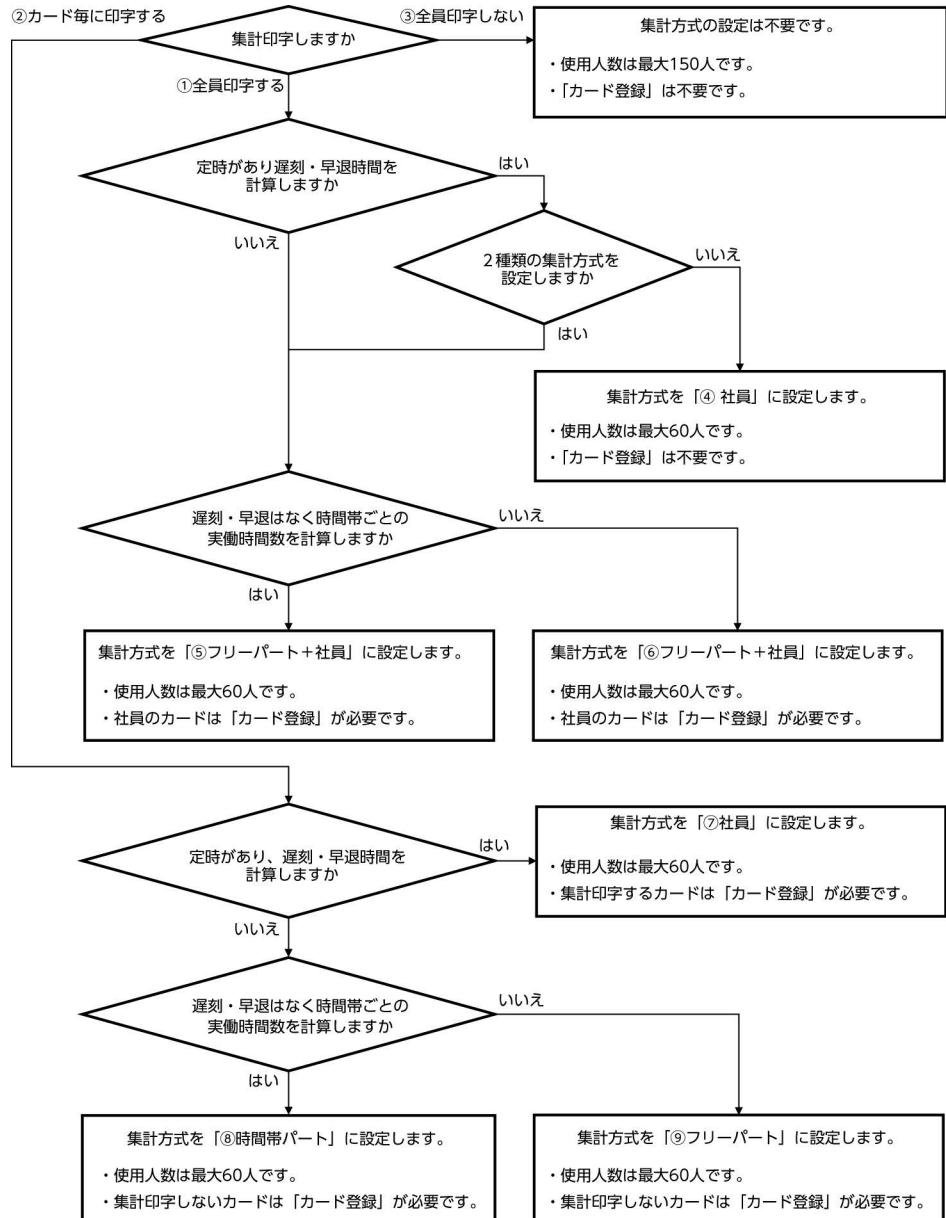
### メモ

電波時計が受信できない場所に設置する場合、インターネットに接続されたお客様のWi-Fi環境があれば、電波時計の代わりにWi-Fiで時刻同期機能が利用可能です。

Wi-Fiで時刻同期機能を利用する場合は、コネクテッドツール接続機能を利用します。（別紙「ご使用前に/コネクテッドツール接続ガイド」を参照）

# 集計方式の選択

下記の選択肢に従って、お客様の運用に合った「集計方式」が決まります。



# 時間集計の解説

## 1日の時間集計（処理日）

### ●時間集計の基本

MX-1000 では 1 日 2 打刻、MX-3000 では 1 日 4 打刻の時間集計を行います。  
本機の 1 日の判断は設定した印字段切換時刻(設定値の時刻を含む)～翌日の印字段切換時刻直前までの 24 時間の範囲で集計します。

この範囲を処理日と呼び、処理日の各打刻（出勤・外出・戻り・退勤）はタイムカード上の同じ印字段（1 行）に印字します。

集計方式は「社員」「時間帯パート」「フリーパート」「集計なし」の中から最大 2 種類を選択します。（集計方式については下記を参照）

印字段切換時刻

5:00

印字段切換時刻(翌日)

5:00

処理日(24 時間)

## 集計印字と集計方式

本機では、社員・パートそれぞれの勤務形態に合わせた「集計方式」で勤務時間を集計することができます。

パートの集計方式には「時間帯パート」と「フリーパート」の 2 種類があり、社員と時間帯パートまたは社員とフリーパートいずれかの組み合わせで集計方式を併用することもできます。

（集計できる人数は、社員・パートを合わせて最大 60 人です。全員が集計印字しない設定では、最大 150 人で使用できます。）

集計印字・集計方式の設定→23 ページ参照

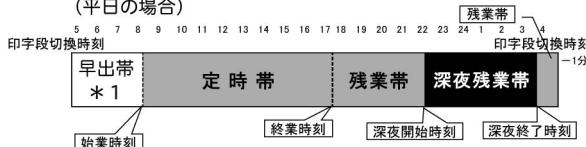
### 社員（設定方法 38 ページ参照、印字例 75 ページ参照）

定時帯（始業時刻から終業時刻まで）を基準に、残業・遅刻早退・深夜残業・私用外出時間の集計を月ごとに印字できる集計方式です。

始業時刻を過ぎてからの出勤打刻は遅刻とみなして遅刻マーク“チ”を印字し、終業時刻前の退勤打刻は早退とみなして早退マーク“ソ”を印字します。

日ごとの集計では、その日の早出と残業の合計時間数を印字し、月ごとの集計では、遅刻+早退、私用外出、早出+残業、深夜残業（設定した場合）それぞれについての累計時間数や日数（回数）を印字します。

（平日の場合）



\*1 平日の集計では、印字段切換時刻～始業時刻の間の出勤打刻は、早出帯となり、社員設定にて集計を有効か無効とすることができます。

## 時間帯パート（設定方法 45 ページ参照、印字例 75 ページ参照）

時間帯によって時給が異なる場合などに、時間帯ごとの集計を月ごとに印字できる集計方式です。

時間帯パート集計では、1日を最大4分割の時間帯に設定し、日ごとの集計ではその日の合計勤務時間を印字しますが、月ごとの集計では時間帯ごとの勤務時間を印字することができます。（印字例 75 ページ参照）

時間帯パートの休憩：出勤から退勤までの時間から、休憩時間（最大5時間帯/日）をさし引いた勤務時間を印字します。

例：5:00～8:59、9:00～16:59、17:00～21:59、22:00～翌4:59 の4時間帯を設定した場合

（印字段切換時刻 = 5:00）

次の4日間勤務した場合の日ごと集計・月ごと累計集計は次の図のようになります。

時間帯	A帯	B帯	C帯	D帯	日ごとの集計		
	5:00 6:00出勤 9:00 12:00退勤	休憩1 12:00～ 13:00	休憩2 15:00～ 15:30	17:00 19:00退勤 18:00出勤 13:00出勤 15:00～ 15:30	休憩3 19:30～ 20:00	22:00 2:00～ 3:00	5:00
5日	3 3					6時間 (6:00～12:00 休憩なし)	
10日		3	2	1.5. 2 1.5. 1.5.		8時間30分 (9:00～19:00 10時間 一休憩時間30分)	
15日					2 4	翌4:00退勤 8時間30分 (18:00～翌4:00 10時間 一休憩時間30分)	
20日			2 1.5. 3.5	1	21:00退勤	7時間 (13:00～21:00 8時間 一休憩1時間)	
月ごとの集計 (時間帯ごとの累計時間)	A帯=3時間	B帯=13時間	C帯=9時間	D帯=5時間			

## フリーパート（設定方法 49 ページ参照、印字例 75 ページ参照）

1日の基準時間を設定し、それを超えた勤務時間を時間外勤務とする集計を月ごとに印字できる集計方式です。

フリーパートの休憩：1日の勤務時間数が設定した休憩基準時間数を超えると、自動的に休憩時間数を差し引いて集計します。（2段階まで設定できます）

例：休憩基準時間1 = 「6:00」 休憩時間1 = 「0:45」

休憩基準時間2 = 「8:00」 休憩時間2 = 「1:00」 の場合

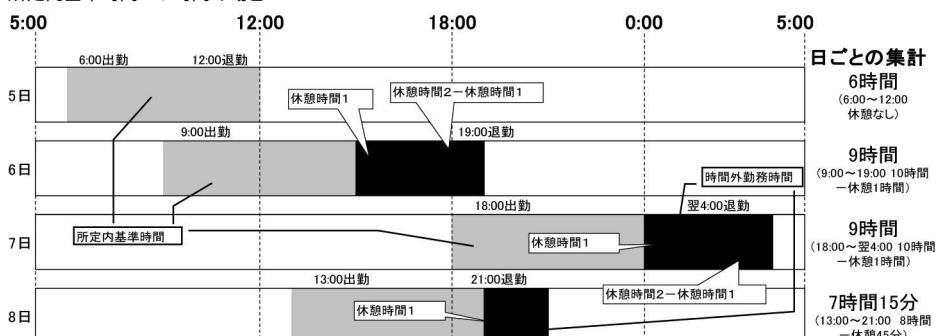
この設定で、9:00に出勤すると、6時間後の15:00～15:45（45分間）が休憩となり、

17:45（=9:00+45分+8時間）～18:00（15分間）が休憩となります。

つまり、第1の休憩45分をさし引いた後に勤務時間数が8時間となる17:45から第2の

休憩15分が始まり、合わせて1時間の休憩となります。

所定内基準時間 = 6時間の場合



## 集計印字なし

MX-1000 では出勤・外出・戻り・退勤の 4 打刻、MX-3000 では出勤・外出 1・戻り 1・外出 2・戻り 2・外出 3・戻り 3・退勤の 8 打刻することができます。この集計方式では時間数の集計は行わずに打刻の日時のみを印字します。出勤・退勤・外出・戻りのボタンを指定しないで打刻した場合は、処理日において最初の打刻を出勤とみなして第 1 欄に、その後の打刻を退勤とみなして第 4 欄に、それぞれ自動で移動して印字します。外出・戻り打刻する場合は、ボタンを指定して打刻することで印字します。MX-3000 では、2 回目以降の外出・戻りボタン指定にて、外出 2・戻り 2・外出 3・戻り 3 を印字します。

## ●集計方式と締日の関係

本機では締日を 2 つ扱うことができます。

タイムカードの出退勤の印字において、1 ヶ月の給与集計期間の最終日を締日と呼びます。締日と現在日時から、タイムカード上の印字段（上下方向の位置）が決定されます。締日 1 と締日 2 の 2 種類を 1~31 の範囲の値で設定パラメータとして持ち、締日 2 を適用したいタイムカードについては「カード登録」の操作を行います。登録されていないタイムカードは、締日 1 が適用されます。締日 1 と締日 2 は、社員・パート・集計印字なしのすべてに共通です。

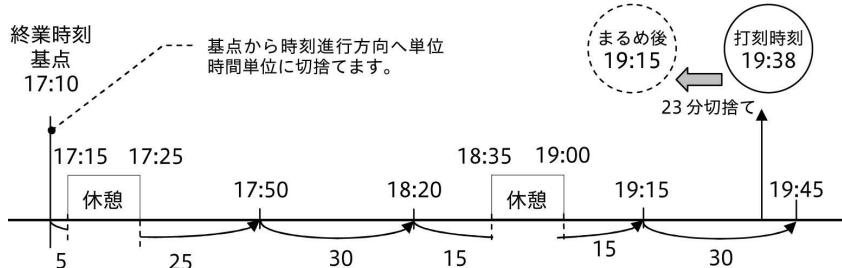
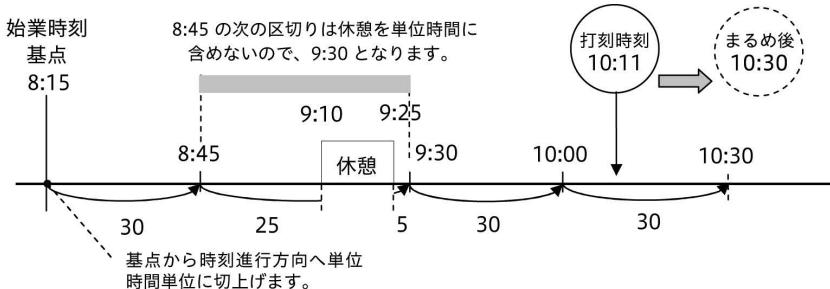
「カード登録」の操作については、68 ページを参照してください。

集計方式と使用人数の関係については 2 ページ、3 ページを参照してください。

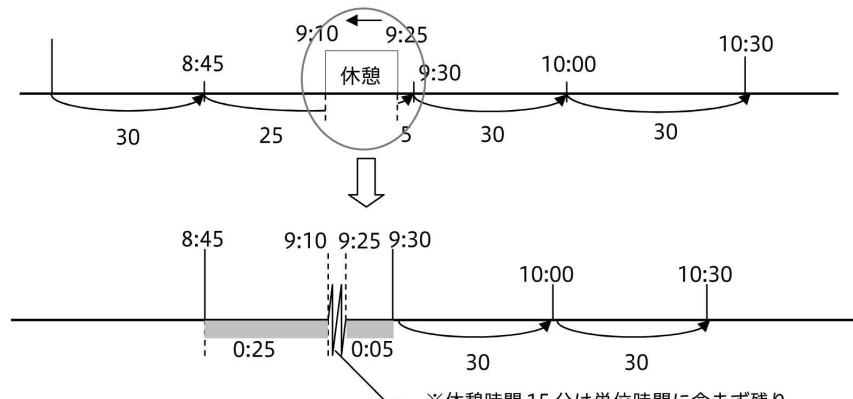
## ● 時刻まるめ (MX-1000)

[集計方式が社員または時間帯パートの場合]

基点から休憩時間を差し引いた時間数が、まるめ単位時間の倍数となるように打刻時刻をずらします。ずらす方向は、出勤では時刻が進むように、退勤では時刻が遡るよう集計します。社員の平日での例(単位時間 30 分)を以下に示します。



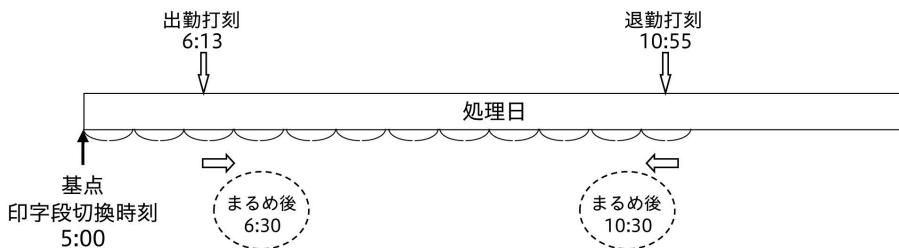
時刻まるめで休憩のある場合の考え方



### [集計方式がフリーパートの場合]

打刻時刻が、基点からまるめ単位時間の倍数となるようにずらします。

ずらす方向は、出勤では時刻が進むように、退勤では時刻が遡るように集計します。  
フリーパートの例(単位時間 30 分)を以下に示します。



### ● 時刻まるめ (MX-3000)

以下の打刻時刻が、基点からまるめ単位時間の倍数となるようにずらします。

#### [集計方式が社員の場合]

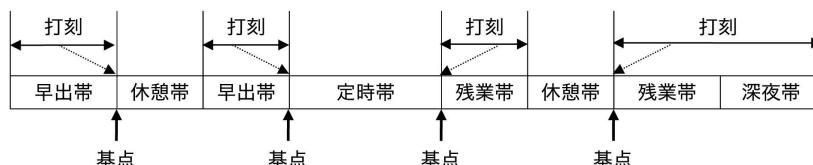
- ・定時間帯外の出勤、退勤、外出、戻り打刻
- ・休日の出勤、退勤打刻
- ・休日の同一時間帯でない外出、戻り打刻

#### [集計方式が時間帯パートの場合]

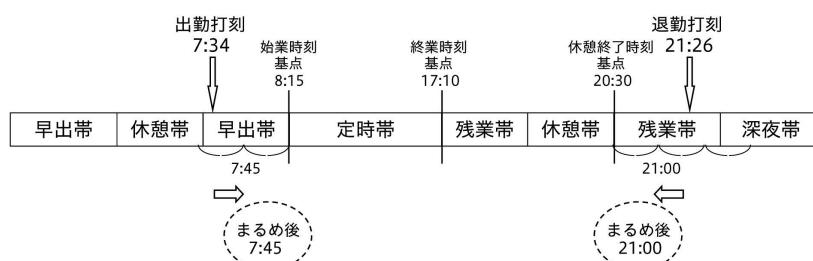
- ・休憩帯外の出勤、退勤打刻
- ・同一時間帯でない休憩帯外の外出、戻り打刻

ずらす方向は、出勤、戻りでは時刻が進むように、退勤、外出では時刻が遡るように集計します。社員の平日での例(単位時間 30 分)を以下に示します。

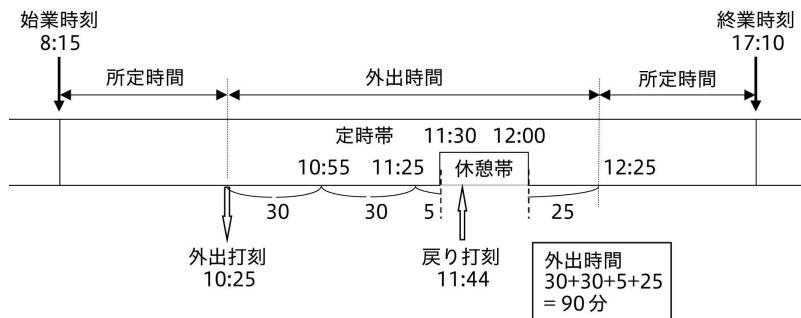
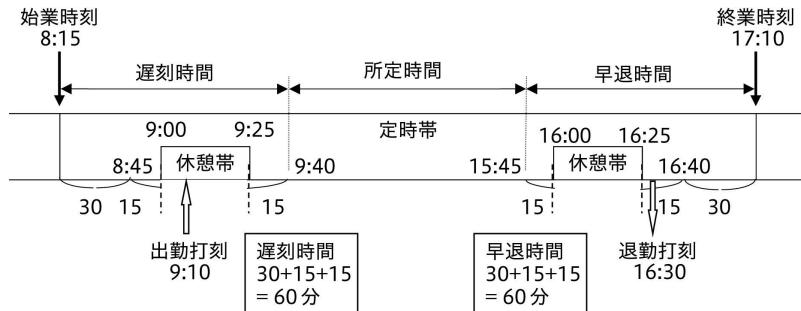
印字段切換時刻



印字段切換時刻(翌日)



集計方式が社員の場合、定時帯内の遅刻、早退、外出時間数は、まるめ単位時間で時間数を集計します。単位時間 30 分での例を以下に示します。

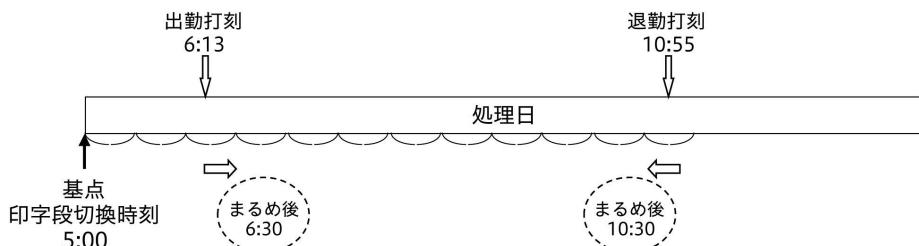


以下の打刻時刻が、基点からまるめ単位時間の倍数となるようにずらします。

[集計方式がフリーパートの場合]

- ・出勤、退勤打刻

ずらす方向は、出勤では時刻が進むように、退勤では時刻が遡るように集計します。外出時間数は、まるめ単位時間で時間数を集計します。フリーパートの例(単位時間 30 分)を以下に示します。



## ●時間数まるめ

出勤打刻の時刻から退勤打刻の時刻までの実績時間数について、休憩時間を差し引いた後、各時間帯ごとにそれぞれの実績時間数がまるめ単位の倍数となるよう切り捨てる集計を行います。

なお、打刻が無かった時間帯に関しても、その時間帯での実績時間数がまるめ単位の倍数となるよう、余りは切り捨てます。ただし、遅刻時間数と早退時間数については切り上げます。

徹夜退勤した場合、社員では2日目の印字段切換時刻から退勤打刻までの徹夜時間数を時間数まるめします。時間帯パートでは徹夜時間数を別集計とせず、各時間帯に集計します。そのため、各時間帯の時間数を時間数まるめします。

### 注意！

集計方式「社員」でお使い頂く場合、所定内時間数が時間数まるめ単位時間で割切れない場合(下の例を参照)設定した所定内時間数と異なる時間数結果となります。

集計方式「社員」で時間数まるめを設定する場合には、単位時間は所定内時間数を割り切れる単位で設定してください。

時間数まるめ 単位時間30分で設定した場合、所定内時間数8:15は単位時間30分で端数処理されるので、所定内時間数は8:00となります。(0:15少なくなります)



## ●印字段切換時刻と印字段切換モード

### (a) 印字段切換モード（当日）

当日の印字段切換時刻から処理日（当日）が始まるモードです。



### (b) 印字段切換モード（前日から）

前日の印字段切換時刻から処理日（当日）が始まるモードです。

例えば下図では、締日の設定が月末となっている場合に、暦日9/30 23:45の打刻は来月分（10月分）として処理されます。



# 共通設定

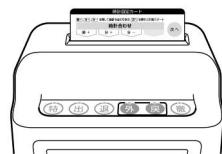
「共通設定カード 1、2、3」を使用すると、以下の処理を行うことができます。

## 時計の合わせかた

時計表示が遅れたり進んでしまったときに手動で時計を合わせる方法です。

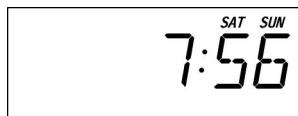
### 1 「時計設定カード」を差し込みます

- ・「時計あわせ」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在時刻を表示します。



### 2 時刻を変更します

- ・[時+] (出)ボタンを押すと、1時間進みます。
- ・[分+] (退)ボタンを押すと、1分進みます。
- ・[分-] (外)ボタンを押すと、1分戻ります。



**メモ** 0秒調整しますので、分は現在時刻より1分進めておいてください。

### 3 [次へ] (徹)ボタンを押します

- ・[次へ] (徹)ボタンを押した瞬間から0秒スタートします。(分を変更した場合のみ)

**メモ** 分を変更しない（時のみの変更）で[次へ] (徹)ボタンを押した場合は、0秒調整されません。

### 4 設定を終了する場合は、[次へ] (徹)ボタンを2回押し、最後に[終了] (徹)ボタンを押します

- ・設定カードが排出され、修正した現在時刻が表示されます。

# 日付の合わせかた

日付があつてないときに日付を合わせる方法です。

## 1 「時計設定カード」の見出しを「日付あわせ」に合わせます

- ・「時計設定カード」を差し込み、[次へ](徹)ボタンを押します。

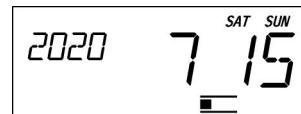


## 2 西暦年・月・日を変更します

- ・[年+] (出)ボタンを押すと、西暦年が1年進みます。
- ・[年-] (退)ボタンを押すと、西暦年が1年戻ります。
- ・[月+] (外)ボタンを押すと、月が1ヶ月進みます。(12の次は1に戻ります)
- ・[日+] (戻)ボタンを押すと、日が1日進みます。(月最終日の次は1に戻ります)

**メモ** ボタンを押し続けると、数値を早送りします。

例：西暦 2020 年 7 月 15 日に変更した場合



## 3 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・設定が登録され、「サマータイムの開始日」の設定に進みます。

## 4 終了する場合は、さらに[次へ](徹)ボタンを押し、[終了](徹)ボタンを押します

- ・設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

## サマータイムの設定（※サマータイム導入までは設定しません）

日本国内で、サマータイムが導入されたときに登録してください。

サマータイムを設定した場合、開始日の午前 2：00 に 1 時間、時刻が進み、終了日の午前 2：00 に 1 時間、時刻が戻ります。

サマータイム開始日の 1：59 の 1 分後は 3：00 となります。

（午前 2：00 に時計は自動的に 1 時間進みます）

サマータイム終了日の 1：59 の 1 分後は 1：00 となります。

（午前 2：00 に時計は自動的に 1 時間戻ります）

一度設定すると、翌年以降も変更がない限り設定（○月、第○週、○曜日）は継続されます。

※例：開始日を 2020 年 7 月 1 日、終了日を 2020 年 9 月 1 日に設定する

### 1 「時計設定カード」の見出しを「サマータイムの開始日」に合わせます

- ・「時計設定カード」を差し込み、  
[次へ]（徹）ボタンを 2 回押します。



初期値は設定なし（上図）



### 2 サマータイム開始日を設定します

- ・[年+]（出）ボタンを押すと、西暦年が 1 年進みます。
- ・[年-]（退）ボタンを押すと西暦年が 1 年戻ります。
- ・[月+]（外）ボタンを押すと、月が 1 ヶ月進みます。  
(12 の次は 1 に戻ります)
- ・[日+]（戻）ボタンを押すと、日が 1 日進みます。  
(月最終日の次は 1 に戻ります)



### 3 [次へ] (徹)ボタンを押します

- 表示しているサマータイム開始日が登録され、「サマータイムの終了日」の設定に進みます。



### 4 サマータイム終了日を設定します

- [年+] (出)ボタンを押すと西暦年が1年進みます。
- [年-] (退)ボタンを押すと西暦年が1年戻ります。
- [月+] (外)ボタンを押すと月が1ヶ月進みます。  
(12の次は1に戻ります)
- [日+] (戻)ボタンを押すと日が1日進みます。  
(月最終日の次は1に戻ります)



### 5 [終了] (徹)ボタンを押します

- 表示したサマータイム終了日が登録されます。
- 設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

※設定を無効にしたい場合

サマータイムの設定を無効にしたい場合は、開始日と終了日を同じ日付に設定してください。設定が解除されます。

**メモ** サマータイム開始、終了日の午前2:00をまたいで勤務した場合、時間数は正しく集計されません。

# 締日の変更

締日1を変更する方法です。締日2も同様の操作で変更します。(締日の詳細は9ページ参照)

**メモ** 初期値は締日1が「31日(月末)締め」、締日2が「20日締め」になっています。

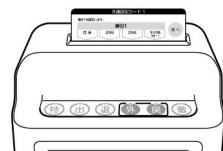
**重要**

ご使用中に誤った手順で締日を変更すると、打刻データは正しく集計されません。  
ご使用中の締日の変更は、次の手順で行ってください。

- ①現在打刻中のタイムカードを集計する(当月集計印字→76ページ参照)
- ②前月打刻して集計していないタイムカードがある場合は集計する  
(前月集計印字→74ページ参照)
- ③個人データをクリアする(34ページ参照)
- ④締日を変更する(下記1~4)

## 1 「共通設定カード1」を差し込みます

- ・「締日1」の印刷ガイドが見える位置で  
設定カードは停止し、現在の締日を表示します。



## 2 締日を変更します

- ・[月末](出)ボタンを押すと、月末締め(初期値)に設定されます。
- ・[20日](退)ボタンを押すと、20日締めに設定されます。
- ・[25日](外)ボタンを押すと、25日締めに設定されます。
- ・[その他](戻)ボタンを押すごとに、1から31の数字を繰り返し表示します。  
表示が締日の数字になるまで[その他](戻)ボタンを押してください。

※[その他]ボタンのみ、ボタンを押しつづけると数値を早送りできます。

例：月末締めに設定した場合  
(表示は“31”となります)



## 3 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・設定した締日が登録され、「締日2」の設定に進みます。

## 4 終了する場合は[次へ](徹)ボタンを2回押し、最後に[確定](徹)ボタンを押します

- ・設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

# 印字段切換モード／印字段切換時刻の設定

タイムレコーダー上の 1 日の開始時刻を設定します。

初期値（午前 5:00）の場合、午前 5:00 から翌日の午前 4:59 までの打刻を同日の勤務と扱い、タイムカードの同じ日付の段に印字します。

- ・退勤時に[徹]ボタンを押した場合は、印字段切換時刻以降であっても、前日と同じ段に印字できます。

(印字段切換時刻の説明 13 ページ参照)

集計方式が「時間帯パート」の場合、印字段切換時刻は A 帯開始時刻になります。  
(時間帯の設定 47 ページ参照)

## 1 「共通設定カード 1」の見出しを「印字段切換モード／印字段切換時刻」に合わせます

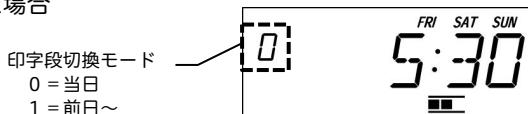
- ・「共通設定カード 1」を差し込み、  
[次へ](徹)ボタンを 2 回押します。



## 2 印字段切換モード／印字段切換時刻を変更します

- ・[当日](出)ボタンを押すと、印字段切換モードが当日にセットされます。
- ・[前日～](退)ボタンを押すと、印字段切換モードが前日からにセットされます。
- ・[時+] (外)ボタンを押すと、印字段切換時刻の「時」が 1 時間進みます。
- ・[分+] (戻)ボタンを押すと、印字段切換時刻の「分」が 1 分進みます。

例：当日の午前 5:30 に設定した場合



## 3 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・設定が登録され、「曜日印字モード、操作音」の設定に進みます。

## 4 終了する場合は[次へ](徹)ボタンを 1 回押し、最後に[確定](徹)ボタンを押します

- ・設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

# 曜日印字モードの変更

曜日の印字を変更する方法です。

**メモ** 初期値は「漢字」になっています。

印字が「漢字」の場合

17	日	8:23			17:30
18	月	8:10			21:19

曜日印字

## 1 「共通設定カード1」を差し込みます

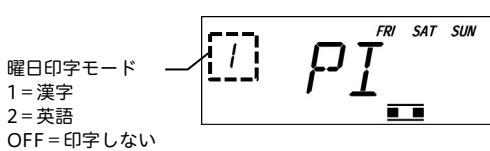
- 「共通設定カード1」を差し込み、  
[次へ](徹)ボタンを3回押します。



## 2 曜日印字モードを変更します

- [漢字](出)ボタンを押すと、曜日印字モードを漢字に変更します。(表示は1)
- [英語](退)ボタンを押すと、曜日印字モードを英語に変更します。(表示は2)
- [OFF](外)ボタンを押すと、曜日印字モードを印字しない(OFF)設定に変更します。(表示はOFF)

例：漢字モードに設定した場合



## 3 [次へ](徹)ボタンを押します

- 設定が登録され、「徹夜退勤の検知／バックライト消灯時刻」の設定に進みます。

## 4 設定を終了する場合は、[確定](徹)ボタンを押します

- 設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

# 操作音の変更

操作音の音色を変更する方法です。

**メモ** 初期値は「ピッ」になっています。

## 1 「共通設定カード1」の見出しを「操作音」に合わせます

- 「共通設定カード1」を差し込み、  
[次へ](徴)ボタンを3回押します。



## 2 操作音の音色を変更します

- [音色] (戻)ボタンを押すたびに、操作音が「ピッ音」「ピピッ音」「OFF」に切り換わります。

※操作音が「ピピッ音」に設定された場合、通常打刻操作において各ボタンを押したときの操作音は下表のようになります。

ボタン	ON (LED 点灯) するときの操作音	OFF (LED 消灯) するときの操作音
特別日	ピピピッ	ピポッ
出	ピッ	ピポッ
退	ピピッ	ピポッ
外	ピッ	ピポッ
戻	ピピッ	ピポッ
徹夜	ピビビピッ	ピポッ

※操作音色が「OFF」に設定された場合、通常打刻操作において各ボタンを押しても操作音はなりません。カード挿入時等のエラーではエラー音がします。

## 3 [次へ](徴)ボタンを押します

- 設定が登録され、「徹夜退勤の検知／バックライト消灯時刻」に進みます。

例：操作音を「ピピッ」に設定した場合



## 4 終了する場合は、[確定](徴)ボタンを押します

- 設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

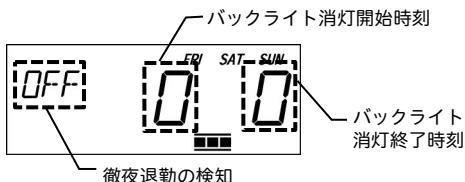
# 徹夜退勤の検知・バックライト消灯時刻の設定

徹夜退勤の検知とは、出勤または戻り打刻後に退勤せずに印字段切換時刻をまたいだ退勤打刻で(徹)ボタンが選択されていなかった場合、エラーとして警告する機能です。(徹)ボタンを選択しないで再度打刻しようとした場合は、徹夜とはみなさないで出勤として打刻します。 (→59 ページ)

1

「共通設定カード 1」の見出しを「徹夜退勤の検知・バックライト消灯時刻」に合わせます

- ・「共通設定カード 1」を差し込み、[次へ](撤)ボタンを4回押します。



2

徹夜退勤の検知・バックライト消灯時刻を設定します

徹夜退勤の検知

- ・[ON] (出)ボタンを押すと徹夜退勤の検知機能を有効(ON)設定にします。
- ・[OFF] (退)ボタンを押すと徹夜退勤の検知機能を無効(OFF)設定にします。

バックライト消灯時刻

- ・[開始時刻 時+] (外)ボタンを押すとバックライト消灯の開始時刻が1進みます。「0→1→2→…→23→-→0」と切り替わります。
- ・[終了時刻 時+] (戻)ボタンを押すとバックライト消灯の終了時刻が1進みます。「0→1→2→…→23→0」と切り替わります。

メモ

- ・バックライト消灯時刻は、分単位での設定はできません。
- ・バックライト消灯の開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定した場合、“常時消灯”とみなします。
- ・(外)ボタンを押して「-」を表示した場合は、桁表示が「- - -」となります。桁表示が「- - -」の場合は、“常時点灯”を示します。

例：徹夜退勤の検知 ON、バックライトを  
23:00～5:00まで消灯すると設定した場合



3

[確定](徹)ボタンを押します

- ・徹夜退勤の検知・バックライト消灯時刻を確定し、設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

# 集計印字と集計方式の設定

集計印字および集計方式の設定を変更できます。

集計印字を行う社員、パートで使用する場合は最大 60 人で使用できます。

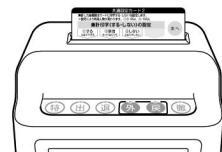
全員が集計印字を行わない場合は最大 150 人で使用できます。

メモ

- ・設定のながれ(6 ページ)を参考に、集計印字①②③および集計方式④⑤⑥⑦⑧⑨のどれを設定するのかを決めておきます。
- ・初期値は集計印字が「①する」、集計方式が「⑤時間帯パート + 社員」になっています。

## 1 「共通設定カード 2」を差し込みます

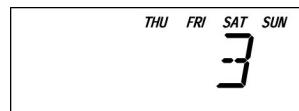
- ・「集計印字（する・しない）の設定」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現時点の設定を表示します。



## 2 集計印字（する・しない）の設定を行います

- ・[①する](出)ボタンを押すと、全員集計印字する設定になります。
- ・[②併用 カード毎に印字](退)ボタンを押すと、カードごとに集計印字する設定になります。
- ・[③しない 全員印字しない](外)ボタンを押すと、全員集計印字しない設定になります。

例：[③しない 全員印字しない]に設定した場合



## 3 [次へ](徹)ボタンを押します

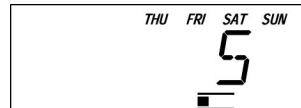
- ・[①する]を指定していた場合は「集計方式の設定【集計印字①の場合】」の設定に進みます。
- ・[②併用 カード毎に印字] を指定していた場合は「集計方式の設定【集計印字②の場合】」の設定に進みます。
- ・[③しない 全員印字しない]を指定していた場合は「最大打刻数」の設定に進みます。

## 集計方式の設定【集計印字①の場合】

### 1 集計方式の設定【集計印字①の場合】の設定を行います

- ・[④社員](出)ボタンを押すと、社員に設定されます。
- ・[⑤時間帯パート+社員](退)ボタンを押すと、時間帯パート+社員に設定されます。
- ・[⑥フリーパート+社員](外)ボタンを押すと、フリーパート+社員に設定されます。

例：[⑤時間帯パート+社員]に設定した場合



### 2 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・「1日の時間数印字／累計時間数印字」の設定に進みます。

### 3 設定を終了する場合はさらに(徹)ボタンを2回押します

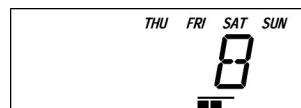
- ・設定カードが排出され、現在時刻を表示します。

## 集計方式の設定【集計印字②の場合】

### 1 集計方式の設定【集計印字②の場合】の設定を行います

- ・[⑦社員](出)ボタンを押すと、社員+集計印字なしに設定されます。
- ・[⑧時間帯パート](退)ボタンを押すと、時間帯パート+集計印字なしに設定されます。
- ・[⑨フリーパート](外)ボタンを押すと、フリーパート+集計印字なしに設定されます。

例：[⑧時間帯パート]に設定した場合



### 2 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・「1日の時間数印字／累計時間数印字」の設定に進みます。

### 3 設定を終了する場合はさらに(徹)ボタンを2回押します

- ・設定カードが排出され、現在時刻を表示します。

## 1日の時間数印字の設定

1日の時間数印字を設定します。

**メモ** 初期値は「ON」になっています。

設定が ON の場合：社員では、[1日の残業時間数] を退勤時に印字します。

	出 IN	退 OUT	出 IN	退 OUT		
16	月 8:00			17:00	0:30	0:30
17	火 8:25			16:30	--:	0:30
18	水 8:12			19:36	2:00	2:30
19	木 8:21			17:42	--:	2:30
20	金 8:23			19:46	2:00	4:30
21	土 8:22			17:42	--:	4:30
22	日 8:21			17:25	8:30	13:00
23	月 8:30			6:25	12:30	25:30#

パートでは、[1日の実働時間数] を退勤時に印字します。

	出 IN	退 OUT	出 IN	退 OUT		
16	月 10:26			20:08	9:30	9:30
17	火 9:55			17:37	7:30	17:00
18				18:41	X	
19	木 7:50			17:28	9:15	26:15
20	金 8:24			14:41	6:00	32:15

※設定が OFF の場合：残業時間数や実働時間数は印字されません。

1

## 「共通設定カード②」の見出しを「1日の時間数印字／累計時間数印字」に合わせます

- ・「共通設定カード②」を差し込み、  
[次へ] (徹)ボタンを 2 回押します。

メモ

集計印字が「③全員印字しない」に設定されている場合、「1日の時間数印字／累計時間数印字」は設定できません。

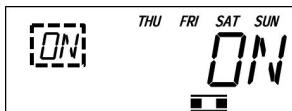


2

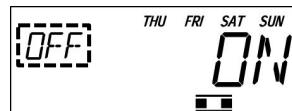
## 1日の時間数印字を変更します

- ・[ON] (出)ボタンを押すと、1日の時間数印字 ON に設定されます。
- ・[OFF] (退)ボタンを押すと、1日の時間数印字 OFF に設定されます。

例：設定 ON の場合



設定 OFF の場合



「累計時間数印字」の設定に進む場合は、27 ページの **2** に進んでください。

3

## [次へ] (徹)ボタンを押します

- ・設定が登録され、「最大打刻数」に進みます。

4

## 設定を終了する場合は、[確定] (徹)ボタンを押します

- ・設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

# 累計時間数印字の設定

累計時間数印字を設定します。

**メモ** 初期値は「ON」になっています。

設定が ON の場合： 社員では、残業時間の累計時間数を退勤時に印字します。

パートでは、実働時間の累計時間数を退勤時に印字します。

設定が OFF の場合： 残業累計時間数や実働累計時間数は印字されません。

※打ち忘れた日があった場合、翌日の累計時間数印字にはアンダーラインが印字されます。  
(日ごとの集計印字→63 ページ参照)

## 1 「共通設定カード 2」の見出しを「1日の時間数印字／累計時間数印字」に合わせます

- ・「共通設定カード②」を差し込み、  
[次へ](徹)ボタンを 2 回押します。

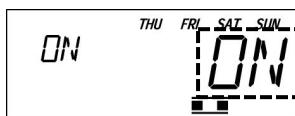
**メモ** 集計印字が「③全員印字しない」に設定されている場合、「1日の時間数印字／累計時間数印字」は設定できません。



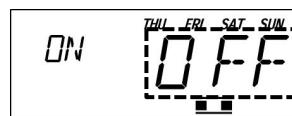
## 2 累計時間数印字を変更します

- ・[ON] (外)ボタンを押すと、累計時間数印字 ON に設定されます。
- ・[OFF] (戻)ボタンを押すと、累計時間数印字 OFF に設定されます。

例：設定 ON の場合



設定 OFF の場合



## 3 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・設定が登録され、「最大打刻数」に進みます。

## 4 設定を終了する場合は、[確定](徹)ボタンを押します

- ・設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

# 最大打刻数の設定

最大打刻数の設定を変更できます。

MX-1000 では 4 打刻固定です。ただし集計印字するカードを使用するときの打刻数は 2 打刻までです。

MX-3000 では集計印字しないカードを使用する設定のときに 8 打刻を指定することができます。ただし集計印字するカードを使用するときの打刻数は 4 打刻までです。

**メモ** 初期値は「4 打刻」になっています。

## 1 「共通設定カード 2」の見出しを「最大打刻数」に合わせます

- 集計印字が「①全員印字する」または「②カード毎に印字する」の場合、「共通設定カード 2」を差し込み、[次へ](徹)ボタンを 3 回押します。
- 集計印字が「③全員印字しない」の場合、「共通設定カード 2」を差し込み、[次へ](徹)ボタンを 1 回押します。

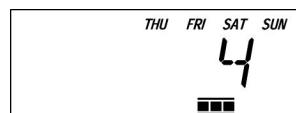


## 2 「最大打刻数」を変更します

- [4](退)ボタンを押すと、最大打刻数が 4 に設定されます。
- [8](外)ボタンを押すと、最大打刻数が 8 に設定されます。

**メモ** 「8」の設定は、MX-3000 で集計印字が「②カード毎に印字する」または「③全員印字しない」の場合のみ設定可能です。

例：最大打刻数を [4] に設定した場合



## 3 [確定](徹)ボタンを押します

- 最大打刻数が登録されます。
- 設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

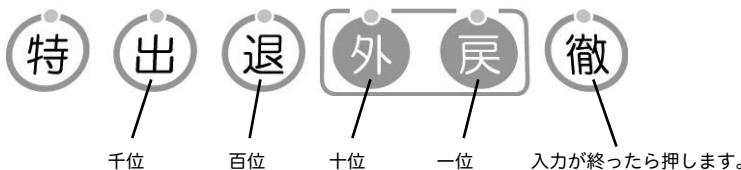
## パスワードの設定

パスワードを設定する方法です。設定操作時にパスワード入力が必要ない場合は設定しないでください。※初期値はパスワードの設定はされていません。  
パスワードを設定することで、設定操作開始時にパスワードの入力が必要になります。

下の表示は、パスワード設定がされている場合の設定操作開始時のパスワード要求表示です。



パスワードの入力は上部のボタンで4桁の数字を入力します。

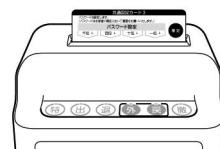


### メモ

不正防止のため、設定したパスワードはお客様の責任において管理をお願いいたします。万が一、パスワードをお忘れになった場合、弊社技術員による操作が必要になります。弊社 MX-1000/3000(コネクテッドタイムレコーダー)に関するお問い合わせ窓口までご連絡ください。(正規の管理担当者様からのご依頼であるか、確認させていただくことがあります)

### 1 「共通設定カード3」を差し込みます

- 「パスワード設定」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在の設定を表示します。

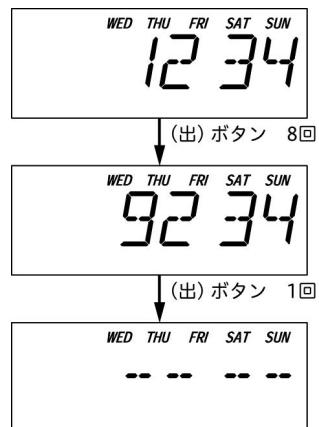


## 2 パスワードを設定します

例：パスワードを「1234」に設定する場合



例：パスワードをなしに設定する場合



## 3 [次へ] (徹)ボタンを押します

- ・パスワード設定が登録されます。

# 電波時計による時刻同期の強制実行方法

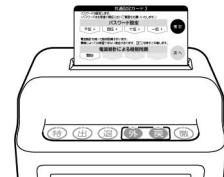
電波時計による時刻同期は、通常 AM1:15～AM4:00 の間に自動で行われます。  
手動で即時に同期を実行する方法は以下のとおりです。

## メモ

- ・電波時計による時刻同期中はバックライトが消灯しますが、故障ではありません。
- ・インターネット接続している場合は電波時計による時刻同期は使用しません。  
そのため「電波時計による時刻同期」の項目はスキップします。

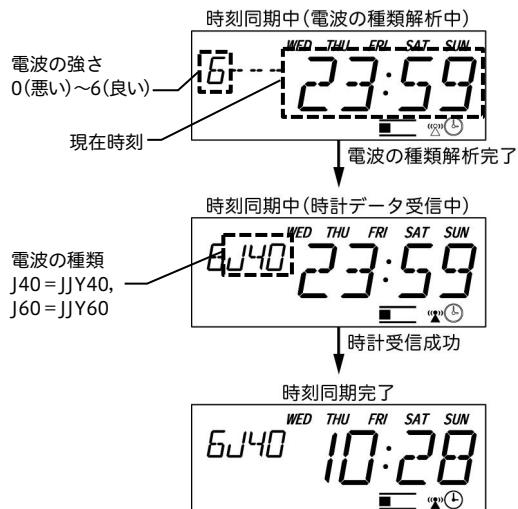
## 1 「共通設定カード3」の見出しを「電波時計による時刻同期」に合わせます

- ・「共通設定カード3」を差し込み、[次へ](徹)ボタンを1回押します。



## 2 電波時計による時刻同期を開始します

- ・[開始](出)ボタンを押すと、  
電波時計による時刻同期を  
開始します。
- ・電波の種類を解析中のときは、  
電波アイコンと時計アイコ  
ンが点滅します。
- ・時計データ受信中のときは、  
電波アイコンが点灯し、時計  
アイコンが点滅します。
- ・時刻同期が完了したときは、  
現在時刻が更新され、電波ア  
イコンと時計アイコンが点  
灯します。



## 3 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・電波時計による時刻同期を終了します。

# 設定内容の印字のしかた

設定内容をタイムカードに印字します。(印字例と設定内容は 98、99 ページ参照)

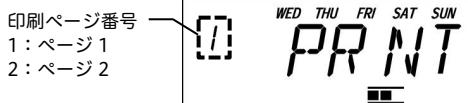
## 1 「共通設定カード 3」の見出しを「設定内容の印字」に合わせます

- ・「共通設定カード 3」を差し込み、  
[次へ](徹)ボタンを 2 回押します。



## 2 [開始] (出)ボタンを押します

- ・[開始] (出)ボタンを押すと、共通設定カード 3 が排出されます。



### ※設定内容の印字を中止したい場合

- ・共通設定カード 3 を差し込むと、共通設定カード 3 が排出され、現在時刻が表示されます。
- ・いずれかのボタンを押すと、現在時刻が表示されます。

## 3 設定内容を印字します

- ・新しいタイムカードを差し込むと、設定内容が印字されます。2 面分の印字がありますので、印字が終わったら裏面に変えて、再度タイムカードを差し込んでください。設定内容の印字例については、98 ページを参照してください。
- ・タイムカード／共通設定カード 3 以外を差し込むと、「E-12」となります。
- ・2 面分の印字が終わるとタイムカードが排出され、現在時刻が表示されます。

# 設定内容の初期化のしかた

設定内容を初期化する方法です。

## 1 「共通設定カード 3」の見出しを「設定の初期化」に合わせます

- ・「共通設定カード 3」を差し込み、  
[次へ](徹)ボタンを 2 回押します。



## 2 設定内容を初期化します

- ・設定内容を初期化する場合は、パスワード「44」と入力してください。
- ・Wi-Fiに関する設定内容を初期化する場合は、パスワード「66」と入力してください。
- ・[十位+] (外)ボタンを押すと十位が +1 します。
- ・[一位+] (戻)ボタン押すと一位が +1 します。

例：パスワード「44」を入力した場合



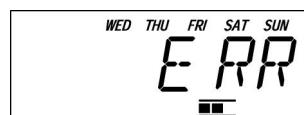
## 3 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・設定内容が初期化されます。
- ・設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

※パスワードが間違っていて初期化できなかった場合  
ピコピコピコピコとエラー音が鳴り右図の表示になります。

(徹)ボタンを押すと、設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

もう一度 **1** からやり直してください。



### ※初期化操作を中止したい場合

設定内容の初期化操作を途中で中止したい場合は、パスワードを“00”または“99”に合わせ、(徹)ボタンを押してください。  
次の設定操作に進みます。

# 全データの消去のしかた

全データまたは打刻データを消去する方法です。  
パスワードによって消去したいデータを選択できます。

**メモ** 打刻データの消去は、コネクテッドツールに送る打刻データの消去操作です。

## 1 「共通設定カード3」の見出しを「全データ消去」に合わせます

- ・「共通設定カード3」を差し込み、  
[次へ] (徹)ボタンを3回押します。



## 2 データを消去します

- ・全データを消去する場合は、パスワード「33」と入力してください。
- ・打刻データをすべて消去する場合は、パスワード「22」と入力してください。
- ・[十位+] (外)ボタンを押すと、十の位の数値が1進みます。
- ・[一位+] (戻)ボタンを押すと、一の位の数値が1進みます。

例：パスワード「33」を入力した場合



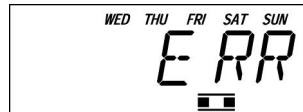
### 3 [次へ](徹)ボタンを押します

- データが消去されます。
- 設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

※パスワードが間違っていて消去できなかった場合  
ピコピコピコピコとエラー音が鳴り右図の表示になります。

(徹)ボタンを押すと、設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

もう一度 **1** からやり直してください。



#### ※消去操作を中止したい場合

データの消去操作を途中で中止したい場合は、パスワードを“00”に合わせ、(徹)ボタンを押してください。

次の設定操作に進みます。

Wi-Fi機能が無効となっている場合、設定カードは排出され、現在時刻が表示されます。

## レコーダー登録情報初期化のしかた

以下の場合に、タイムレコーダー登録情報初期化を行います。

- コネクティッドツールの利用を停止し、タイムレコーダーを廃棄する場合
- コネクティッドツールでのタイムレコーダー登録時に、対象のタイムレコーダーが登録されていないにも関わらず、「入力された機番は既に登録されています」エラーになった場合

いずれにも該当しない場合は、[いいえ](戻)ボタンを押してから[確定](徹)ボタンを押してください。

操作方法は別紙の「ご使用前に」を参照ください。

# バックライト標準色の変更

表示器のバックライト標準色を変更することができます。

**メモ** 初期値は「0」(白色)になっています。

## 1 電源が入った状態で本体上部の上ケースを開けます

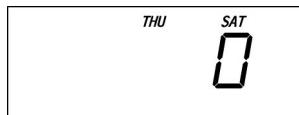
- 上ケースを開けると右の表示(OPEN)が点滅します。

**メモ** Wi-Fi 機能が有効の場合は左側に WIFI が点灯しています。

A rectangular graphic showing the word "OPEN" in a digital-style font, with the letters partially illuminated.

## 2 (外) ボタンと (徹) ボタンを同時に 2 秒以上押します

- 現在のバックライト標準色の設定値が表示されます。
- (出) ボタンを押すと設定値が +1 されます。
- (退) ボタンを押すと設定値が -1 されます。



- 設定値とバックライト標準色の関係を下表に示します。

設定値	バックライト標準色	設定値	バックライト標準色	設定値	バックライト標準色
0	白色	3	緑色	6	紫色
1	水色	4	黄色	7	桃色
2	青色	5	橙色		

## 3 (撤) ボタンを押します

- 設定が登録され、OPEN 表示に戻ります。

# 印字欄自動判定設定の変更

タイムカードへの印字において、ボタン操作しないで印字するときの動作を変更できます。

**メモ** 初期値は「1」(外ボタンと戻ボタンはボタン操作)になっています。

## 1 電源が入った状態で本体上部の上ケースを開けます

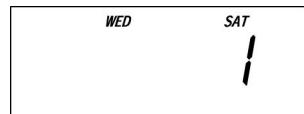
- 上ケースを開けると右の表示(OPEN)が点滅します。

**メモ** Wi-Fi 機能が有効の場合は左側に WIFI が点灯しています。



## 2 (退) ボタンと (徹) ボタンを同時に 2 秒以上押します

- 現在の設定値が表示されます。
- (出) ボタンを押すと 1、(退) ボタンを押すと 2 が表示されます。
- 1 では、(外) と (戻) ボタンはボタン操作が必要です。
- 2 では、集計印字しないカードにおいて、ボタン操作せずに 1 欄目から順に印字します。



**メモ** コネクテッドツールを利用する場合は、必ず 1 に設定してください。

## 3 (撤) ボタンを押します

- 設定が登録され、OPEN 表示に戻ります。

# 時間集計の設定

## 社員設定

「社員設定カード」「社員休憩設定カード」を使用すると、以下の処理が行えます。

### ●まるめ方式／まるめ単位時間の設定

本機は以下の時間集計時の端数処理(まるめ)を行う機能があります。

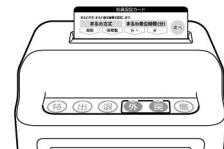
まるめ機能には、時刻まるめと時間数まるめの2種類があり、社員設定ではどちらかの処理方法を選択します。個人単位でこの処理機能を分けることはできません。

(時刻まるめと時間数まるめの詳細は10~13ページ参照)

**メモ** 集計方式が[⑧時間帯パート]または[⑨フリーパート]となっている場合、「まるめ方式／まるめ単位時間」はスキップします。

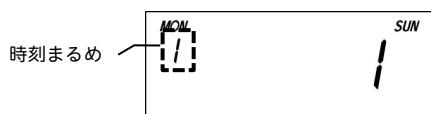
### 1 「社員設定カード」を差し込みます

- 「まるめ方式」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在の設定を表示します。

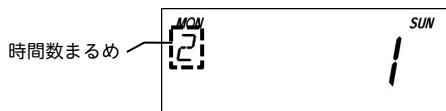


### 2 まるめ方式を設定します

- [時刻](出)ボタンを押すと、時刻まるめが設定できます。(表示は1)  
(MX-1000の時刻まるめの詳細は10ページ参照)  
(MX-3000の時刻まるめの詳細は11ページ参照)

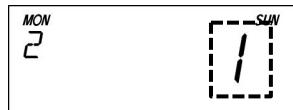


- [時間数](退)ボタンを押すと、時間数まるめが設定できます。(表示は2)  
(時間数まるめの詳細は13ページ参照)



### 3 まるめ単位を設定します

- ・[分+] (外)ボタンを押すと、まるめ単位時間の数値が進みます。  
「1分→5分→10分→15分→20分→30分→60分→1分」



- ・[分-] (戻)ボタンを押すと、まるめ単位時間の数値が戻ります。  
「1分→60分→30分→20分→15分→10分→5分→1分」



※上記以外の単位を設定することはできません。

※初期値は「1 (1分単位)」になっています。

### 4 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・設定が登録され、「始業時刻／終業時刻」に進みます。

### 5 設定を終了する場合は、[次へ](徹)ボタンを3回押し、最後に[確定](徹)ボタンを押します

- ・設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

## ●始業時刻・終業時刻の変更

始業時刻と終業時刻の間が社員の「定時帯」となります。

終業時刻から印字段切換時刻の1分前までが残業帯となり、この時間帯の勤務を残業時間として集計します。

印字段切換時刻から始業時刻までの間が早出帯となります。ただし、早出については早出集計あり（ON）と設定された場合のみ時間集計をします。

**メモ** 初期値では、始業時刻 = 8:30、終業時刻 = 17:00 に設定されています。

例：初期値の場合

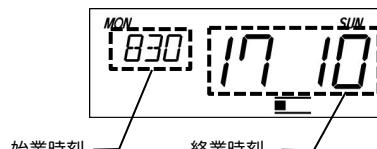


### 1 「社員設定カード」の見出しを「始業・終業」に合わせます

- 「社員設定カード」を差し込み、[次へ](徹)ボタンを押します。

### 2 始業時刻・終業時刻を変更します

- [始業時+] (出)ボタンを押すと始業時が1時間進みます。
- [始業分+] (退)ボタンを押すと始業分が1分進みます。
- [終業時+] (外)ボタンを押すと終業時が1時間進みます。
- [終業分+] (戻)ボタンを押すと終業分が1分進みます。



**メモ** それぞれのボタンを押し続けると、数値を早送りします。

### 3 [次へ](徹)ボタンを押します

- 設定した始業時刻・終業時刻を確定し、「早出時間の集計」に進みます。

### 4 設定を終了する場合はさらに[次へ](徹)ボタンを2回押し、[確定](徹)ボタンを押します

- 設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

## ●早出時間の設定

早出時間の集計を設定します。

**メモ** 初期値は「OFF」になっています。

### 1 「社員設定カード」の見出しを「早出時間の集計」に合わせます

- 「社員設定カード」を差し込み、[次へ](徹)ボタンを2回押します。



### 2 早出時間の集計を設定します

- [ON] (出)ボタンを押すと、早出時間の集計 ON に設定されます。
- [OFF] (退)ボタンを押すと、早出時間の集計 OFF に設定されます。

例：設定 OFF の場合



設定 ON の場合



### 3 [次へ] (徹)ボタンを押します

- 設定した早出時間の集計を確定し、深夜残業帯の変更へ進みます。

### 4 設定を終了する場合はさらに[次へ] (徹)ボタンを押し、[確定] (徹)ボタンを押します

- 設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

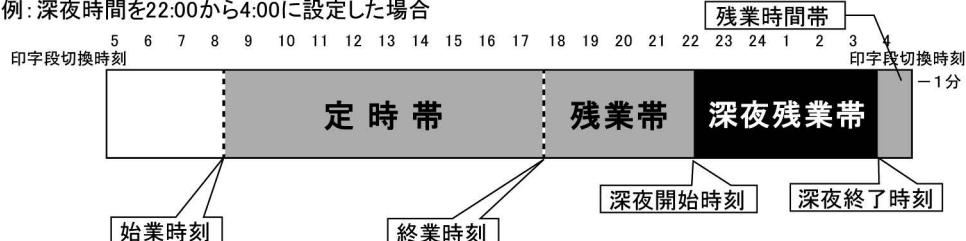
## ●深夜残業帯の設定

深夜残業帯を設定する方法です。

深夜開始時刻と深夜終了時刻を設定すると、その間の時間が深夜残業帯となり、月ごとの集計において、残業帯の残業時間と別項目で集計することができます。

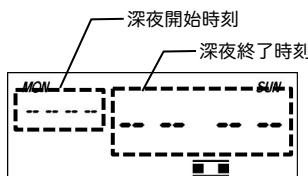
(日ごとの集計では、残業帯の残業時間数と、深夜残業帯の残業時間数の合計が印字されます)

例: 深夜時間を22:00から4:00に設定した場合



### 1 「社員設定カード」の見出しを「深夜開始／深夜終了」に合わせます

- ・「社員設定カード」を差し込み、  
[次へ] (徹)ボタンを3回押します。



設定なし（初期値はこの表示です）

深夜残業帯を設定しない場合に選択してください。



### 2 深夜開始時刻、深夜終了時刻をそれぞれ設定します

- ・[深夜開始時+] (出)ボタンを押すと深夜開始時が1時間進みます。

**メモ** 深夜残業帯を設定しない場合は“-----”を選択してください)

- ・[深夜開始分+] (退)ボタンを押すと深夜開始分が1分進みます。
- ・[深夜終了時+] (外)ボタンを押すと深夜終了時が1時間進みます。
- ・[深夜終了分+] (戻)ボタンを押すと深夜終了分が1分進みます。

**メモ** それぞれのボタンを長押しすると、数値を早送りします。

### 3 [次へ] (徹)ボタンを押します

- ・設定した深夜時間帯設定を確定し、勤務インターバル印字の設定へ進みます。

## ●社員休憩時間帯の設定

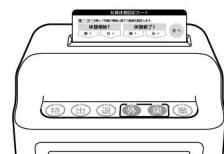
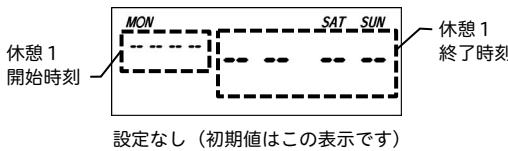
社員の休憩時間帯を設定します（1日に最大5時間帯まで設定できます）。

メモ

- 休憩時間を連続・重複して設定することはできません。
- 始業・終業時刻をまたいで休憩設定することはできません。  
(詳細は53ページ参照)

### 1 「社員休憩設定カード」を差し込みます

- 「休憩開始／終了1」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止します。



### 2 休憩時間帯1を設定します

- 休憩開始1の【時+】(出)ボタンを押すと休憩開始時が1時間進みます。

メモ 休憩時間1を設定しない場合は“-----”を選択してください。

- 休憩開始1の【分+】(外)ボタンを押すと休憩開始分が1分進みます。
- 休憩終了1の【時+】(戻)ボタンを押すと休憩終了時が1時間進みます。
- 休憩終了1の【分+】(退)ボタンを押すと休憩終了分が1分進みます。

メモ それぞれのボタンを長押しすると、数値を早送りします。

### 3 [次へ] (徹)ボタンを押します

- [次へ] (徹)ボタンを押すと、休憩時間帯1の設定を確定し、休憩時間帯2の設定へ進みます。  
(「休憩開始／終了2」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止します。)

## 《休憩時間帯を複数設定する場合》

### 4 休憩2から休憩4の設定は、手順2、3を繰り返します

- 設定したい休憩（休憩2、3、4、5）が見出しに来るまで[次へ] (徹)ボタンを押し、手順2と同様の操作で開始・終了時刻を設定→手順3と同様に[次へ] (徹)ボタン（休憩5の場合は[確定] (徹)ボタン）を押して、設定を確定します。

### 5 見出しが「休憩5」に来るまで[次へ] (徹)ボタンを押し、[確定] (徹)ボタンを押します

- 設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

## ●勤務インターバル印字の設定

集計方式が社員で退勤打刻した際に、退勤時刻から勤務インターバル間隔を加算した時刻が翌日の始業時刻を越えると、警告としてタイムカードの該当日に[#]マークを印字できます。(初期値:印字しない)

以下の例の場合は、退勤打刻 3:00 + 勤務インターバル間隔 9 時間 = 12:00 となり、始業時刻 8:30 を越えるため、タイムカードへ警告マーク[#]を印字します。

勤務間インターバル間隔: 9 時間



**メモ** 初期値は「OFF」(勤務インターバル印字しない)になっています。

### 1 「社員設定カード」の見出しを「勤務インターバル印字」に合わせます

- 「社員設定カード」を差し込み、  
[次へ](徴)ボタンを 4 回押します。



### 2 勤務インターバル印字設定を変更します

- [ON](出)ボタンを押すと、勤務インターバル印字を ON に変更します。
- [OFF](退)ボタンを押すと、勤務インターバル印字を OFF に変更します。
- 勤務インターバル印字 ON が選択されているときに[時+](外)ボタンと[分+](戻)ボタンを押すと勤務インターバル間隔を変更します。



**メモ** [時+](外)ボタンまたは[分+](戻)ボタンを押し続けると、数値を早送りします。

### 3 [確定](徴)ボタンを押します

- 勤務インターバル印字設定が登録されます。
- 設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

# 時間帯パート設定

「時間帯パート設定カード」「時間帯パート休憩設定カード」を使用すると、以下の処理が行えます。

## ●まるめ方式／まるめ単位時間の設定

本機は以下の時間集計時の端数処理(まるめ)を行う機能があります。

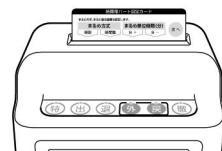
まるめ機能には、時刻まるめと時間数まるめの2種類があり、時間帯パートではどちらかの処理方法を選択します。個人単位でこの処理機能を分けることはできません。

(時刻まるめと時間数まるめの詳細は10~13ページ参照)

1

### 「時間帯パート設定カード」を差し込みます

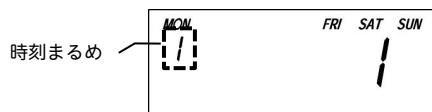
- 「まるめ方式」の印刷ガイドが見える位置で  
設定カードは停止し、現在の設定を表示します。



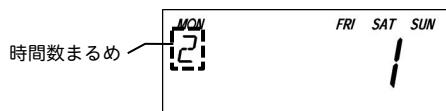
2

### 「まるめ方式」を設定します

- [時刻] (出)ボタンを押すと、時刻まるめが設定できます。(表示は1)  
(MX-1000の時刻まるめの詳細は10ページ参照)  
(MX-3000の時刻まるめの詳細は11ページ参照)



- [時間数] (退)ボタンを押すと、時間数まるめが設定できます。(表示は2)  
(時間数まるめの詳細は13ページ参照)



### 3 「まるめ単位」を設定します

- ・[分+] (外)ボタンを押すと、まるめ単位時間の数値が進みます。  
「1 分→5 分→10 分→15 分→20 分→30 分→60 分→1 分」
- ・[分-] (戻)ボタンを押すと、まるめ単位時間の数値が戻ります。  
「1 分→60 分→30 分→20 分→15 分→10 分→5 分→1 分」

※上記以外の単位を設定することはできません。

※初期値は「1(1分単位)」になっています。



### 4 [次へ](徹)ボタンを押します

- ・設定が登録され、「B 帯開始時刻」に進みます。

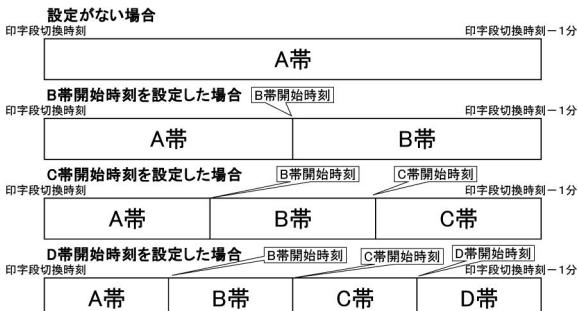
### 5 設定を終了する場合は、[次へ](徹)ボタンを2回押し、最後に[確定](徹)ボタンを押します

- ・設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

## ●パート時間帯の設定

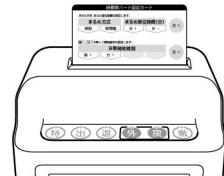
1日に4つまでの時間帯を設定することができます。(時間帯については8ページ参照)

設定しない場合は、印字段切換時刻(14ページ参照)から次の印字段切換時刻をA帯として扱います。B、C、D帯の開始時刻を設定すると、印字段切換時刻から次の時間帯の開始時刻までをA帯、その開始時刻から次の時間帯の開始時刻までをB帯、以下同様にC帯、D帯として扱います。



### 1 「時間帯パート設定カード」の見出しを「B帯開始時刻」に合わせます

- 「時間帯パート設定カード」を差し込み、  
[次へ](撤)ボタンを押します。



### 2 B帯の開始時刻を変更します

- [時+] (出)ボタンを押すとB帯開始時刻が1時間進みます。  
メモ B帯を設定しない場合“----”を選択してください。
- [分+] (退)ボタンを押すとB帯開始時刻が1分進みます。  
メモ それぞれのボタンを長押しすると、数値を早送りします。

### 3 [次へ] (撤)ボタンを押します

- 設定したB帯開始時刻を確定し、C帯開始時刻の設定に進みます。

### 4 C帯、D帯の開始時刻を設定する場合は、同様に手順2、3を繰り返します

- 設定したい時間帯(C帯、D帯)が見出しに来るまで[次へ](撤)ボタンを押し、手順2と同様の操作で開始時刻を設定→手順3と同様に[次へ](撤)ボタン(D帯の場合は[終了](撤)ボタン)を押して、設定を確定します。

### 5 設定を終了する場合は、設定カードが排出されるまで(撤)ボタンを押します

- 見出しが「D帯開始時刻」に来るまで[次へ](撤)ボタンを押し、最後に[確定](撤)ボタンを押すと、設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

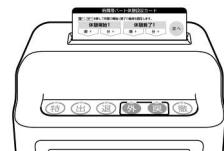
## ●時間帯パート休憩の設定

時間帯パートの休憩時間帯（1日に最大5時間帯まで）を設定します。

勤務時間が設定された休憩時間帯にかかる場合、自動的に勤務時間からさし引いて集計します。

### 1 「時間帯パート休憩設定カード」を差し込みます

- 「休憩開始／終了1」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止します。



### 2 休憩時間帯1を設定します

- 休憩開始1の【時+】(出)ボタンを押すと休憩開始時が1時間進みます。

**メモ** 休憩時間1を設定しない場合は“-----”を選択してください。

- 休憩開始1の【分+】(外)ボタンを押すと休憩開始分が1分進みます。
- 休憩終了1の【時+】(戻)ボタンを押すと休憩終了時が1時間進みます。
- 休憩終了1の【分+】(退)ボタンを押すと休憩終了分が1分進みます。

**メモ** それぞれのボタンを長押しすると、数値を早送りします。

### 3 [次へ] (徹)ボタンを押します

- [次へ] (徹)ボタンを押すと、休憩時間帯1の設定を確定し、休憩時間帯2の設定へ進みます。  
（「休憩開始／終了2」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止します。）

#### 《休憩時間帯を複数設定する場合》

### 4 休憩2から休憩5の設定は、手順2、3を繰り返します

- 設定したい休憩（休憩2、3、4、5）が見出しに来るまで[次へ] (徹)ボタンを押し、手順2と同様の操作で開始・終了時刻を設定→手順3と同様に[次へ] (徹)ボタン（休憩5の場合は[確定] (徹)ボタン）を押して、設定を確定します。

### 5 見出しが「休憩5」に来るまで[次へ] (徹)ボタンを押し、[確定] (徹)ボタンを押します

- 設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

# フリーパート設定

以下の設定は、「共通設定」の「集計方式」(23 ページ) で、「フリーパート」を選択した場合のみ、有効となります。(時間帯パートが選択されている場合、この設定は無効となります)

「フリーパート設定カード」「フリーパート休憩設定カード」を使用すると、以下の処理が行えます。

## ●まるめ単位時間の設定

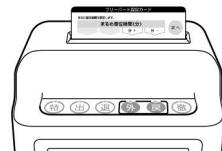
本機は以下の時間集計時の端数処理(まるめ)を行う機能があります。

個人単位でこの処理機能を分けることはできません。

(まるめの詳細は 10 ページ参照)

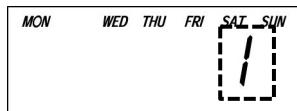
### 1 「フリーパート設定カード」を差し込みます

- 「まるめ単位時間」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止し、現在の設定を表示します。



### 2 「まるめ単位時間」を設定します

- [分+] (外)ボタンを押すと、まるめ単位時間の数値が進みます。  
「1 分→5 分→10 分→15 分→20 分→30 分→  
60 分→1 分」
- [分-] (戻)ボタンを押すと、まるめ単位時間の数値が戻ります。  
「1 分→60 分→30 分→20 分→15 分→10 分→  
5 分→1 分」



※上記以外の単位を設定することはできません。  
※初期値は「1(1 分単位)」になっています。



### 3 [次へ](徹)ボタンを押します

- 設定が登録され、「所定内基準時間数」に進みます。

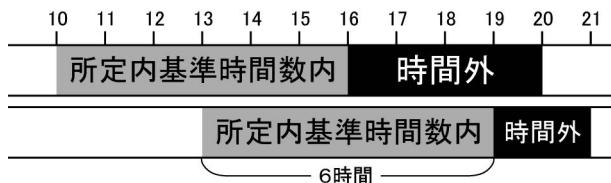
### 4 設定を終了する場合は、[次へ](徹)ボタンを 2 回押し、最後に[確定](徹)ボタンを押します

- 設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

## ●所定内基準時間数の設定

フリーパートの所定内基準時間数を設定します。時刻に関係なくこの時間数を超えて勤務した場合、その時間を時間外勤務として所定内基準時間数内の勤務と区別して集計します。(月ごとの集計)

例：所定内基準時間数を6時間に設定した場合



メモ

初期値は“0:00”(設定なし) です。この場合、月ごとの集計はすべて所定内基準時間数内として集計されます。

### 1 「フリーパート設定カード」の見出しを「所定内基準時間数」に合わせます

- 「フリーパート設定カード」を差し込み、[次へ] (徹)ボタンを押します。



### 2 フリーパートの所定内基準時間数を設定します

- [時+] (出)ボタンを押すと所定内基準時間数が1時間増えます。
- [分+] (退)ボタンを押すと所定内基準時間数が1分増えます。

### 3 [次へ] (徹)ボタンを押します

- 設定した所定内基準時間数が登録され、「フリーパート休憩の設定」へ進みます。

例：所定内基準時間数を6時間に設定した場合



## ● フリーパート休憩の設定

フリーパートの休憩時間を設定します。

フリーパートは、1日の勤務時間数が設定された休憩基準時間数を超えると、自動的にそのあと的时间から対応する休憩時間数をさし引いて集計します。(2段階まで設定できます)

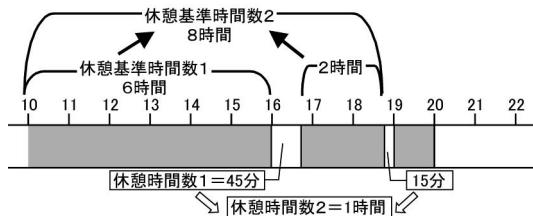
例：休憩基準時間1 = 「6:00」 休憩時間1 = 「0:45」

休憩基準時間2 = 「8:00」 休憩時間2 = 「1:00」 の場合

この設定で、10:00に出勤すると、6時間後の16:00～16:45(45分間)が休憩時間1となり、18:45(=10:00+45分+8時間)～19:00(15分間)が休憩時間2となります。

つまり、第1の休憩45分をさし引いた後に勤務時間数が8時間となる18:45から第2の休憩15分が始まり、合わせて

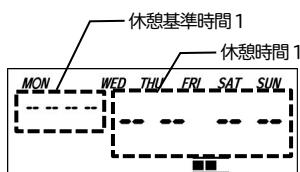
1時間の休憩となります。



1

「フリーパート設定カード」の見出しを「休憩基準時間・休憩時間1」に合わせます

- 「フリーパート設定カード」を差し込み、[次へ] (徹)ボタンを2回押します。



2 休憩基準時間1と休憩時間1を設定します

- 休憩基準時間1の[時+] (出)ボタンを押すと休憩基準時間1の時間が1時間増えます。

**メモ** 休憩基準時間1を設定しない場合 “-----”を選択してください。

- 休憩基準時間1の[分+] (退)ボタンを押すと休憩基準時間1の分が1分増えます。
- 休憩時間1の[時+] (外)ボタンを押すと休憩時間1の時間が1時間増えます。
- 休憩時間1の[分+] (戻)ボタンを押すと休憩時間1の分が1分増えます。

**メモ** それぞれのボタンを押し続けると、数値を早送りします。

### 3 [次へ] (徹)ボタンを押します

- ・[次へ] (徹)ボタンを押すと、休憩基準時間1の設定を確定し、休憩基準時間2の設定へ進みます。  
（「休憩基準時間2／休憩時間2」の印刷ガイドが見える位置で設定カードは停止します。）



### 4 休憩2の設定は、手順 2 3 を繰り返します

**メモ** 休憩基準時間2、休憩時間2を、休憩基準時間1、休憩時間1よりも短い時間に設定することはできません。

### 5 [確定] (徹)ボタンを押します

- ・設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

# 設定内容エラー .....

こんな設定をするとエラーになります。

設定内容に矛盾があると、エラー音（ピコピコピコピコ）が鳴ります。

以下の例など設定上の矛盾がないか確認して、矛盾した設定を修正してください。

(→パラメータエラー一覧：85 ページ)

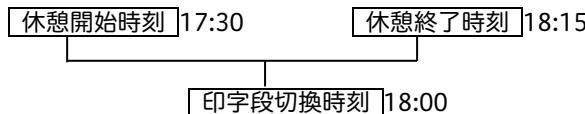
## 【 設定の決まり 】

本機で『設定内容エラー』になる代表的な例を説明します。なお、ここで説明する以外でも設定エラーとなる場合があります。

### ■社員・パート設定に共通の決まり

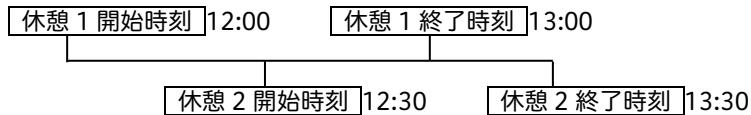
\* 1日の基準時刻は印字段切換時刻です。したがって、すべての時間帯の設定において、この印字段切換時刻をまたぐ設定をした場合は『設定内容エラー』となります。

(エラー例)



\*複数の休憩を設定する場合、休憩帯を重複して設定すると『設定内容エラー』となります。

(エラー例)

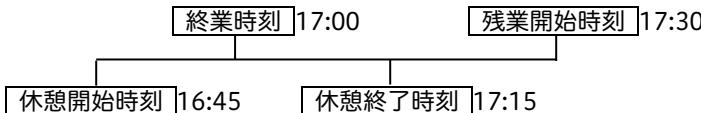


### ■社員設定の決まり

\*始業時刻、終業時刻をまたいだ休憩時間帯を設定した場合は『設定内容エラー』となります。

終業時刻と休憩開始あるいは終了時刻を一致させた場合は『設定内容エラー』となります。

(エラー例)



\*印字段切換時刻と終業時刻を一致させた場合は『設定内容エラー』となります。

(エラー例)



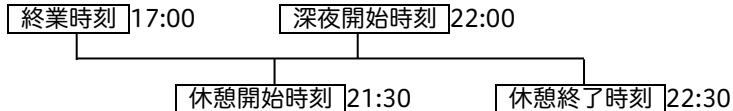
\*定時間帯と残業時間帯をまたいだ休憩時間帯の設定は『設定内容エラー』となります。

(エラー例)



\*休憩時間帯の中に深夜時間帯を含むような設定をした場合は『設定内容エラー』となります。

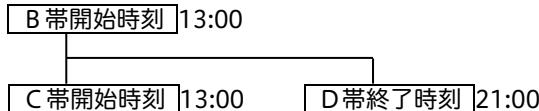
(エラー例)



### ■パート設定の決まり

\*B、C、D時間帯のいずれかでも同じ開始時刻を設定した場合、『設定内容エラー』となります。

(エラー例)



# 日常の操作

タイムカード・集計・設定カードの差し込み方や日常のメンテナンスについて説明します。

## カードの差し込みかた

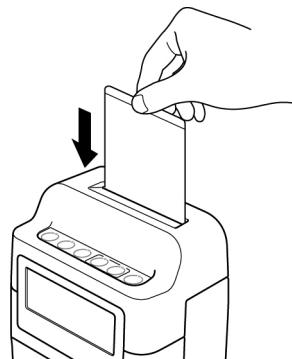
カードを「カード差し込み口」に 5cm 前後差し込む

ようにして、カードから手を離します。

カードは自動的に引き込まれ、印字されて出てきます。

### メモ

- ・カードはまっすぐに差し込んでください。
- ・無理に斜めに差し込んだりすると、印字がずれたり、カードの読み取り不良となります。 (→82 ページ)
- ・タイムカードは MX・MRX カードを使用してください。



### 重要

故障の原因になりますので、次の注意を守ってください。

- ・折れ曲がったカードは使用しないでください。新しいカードに交換してお使いください。ただし、それ以前のデータは継続することができませんので、累計時間数を新しいカードに手集計で加算してください。
- ・カードは無理に押し込んだり、引き抜いたりしないでください。
- ・カードにクリップや付箋紙等を付けたまま入れないでください。
- ・指定のカード(MX・MRX カード)以外の物を入れないでください。
- ・カードに修正液・修正テープを使用しないでください。

## 日常のお手入れ（電源プラグを抜いてから行ってください）

### 警 告



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となります。



スプレー禁止

可燃性のスプレー（ほこり除去スプレー、殺虫スプレー、除菌スプレーなど）を噴霧しない。  
火災・爆発の原因になります。



有機溶剤禁止

有機溶剤（ベンジン、シンナー、除光液など）を使用しない。  
変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

### 注 意



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

#### ■普段のお手入れ

ケースの汚れは乾いた柔らかい布（綿・ネルなど）で軽く拭き取ってください。  
※硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、ケースの表面に傷がつきますのでご注意ください。  
特に窓ガラスは柔らかい布で乾拭きしてください。  
(表面は特殊加工されていますので、ご注意ください)

#### ■汚れがひどいときは

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿・ネルなど）を固くしぼったもので拭き取り、その後、柔らかい乾いた布で乾拭きしてください。  
※本体および電源コード類に有機溶剤（ベンジン、シンナー、除光液など）を使用しないでください。変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

#### ■電源プラグも定期的にお手入れ

トラッキング火災防止のため、電源プラグも定期的にお手入れしてください。  
(トラッキング火災：差しっぱなしのコンセントにほこりと水分が溜まり、プラグとの間にスパークが発生し、出火するという火災です)  
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
電源プラグについたほこりのお掃除は乾いた手で電源プラグを抜き、乾いた布で拭き取ります。また、コンセントの周辺のほこりも取り除いてください。

# 従業員の操作

従業員が本機を操作する方法について説明します。

## ●出勤・退勤の操作（集計印字するカードの場合）

各従業員のタイムカードの打刻回数により、本機が印字欄を自動で判定します。従業員はタイムカードをカード差し込み口に差し込むだけで打刻できます。

((出)(退)(外)(戻)ランプは点灯していません。)

MX-3000 で外出打刻、戻り打刻する場合はボタン操作が必要です。

### ■タイムカードを差し込みます。

タイムカードを自動的に引き込み、印字欄を判定して時刻を印字します。

	出 IN	退 OUT	出 IN	退 OUT	
16	月 8:00			17:00	0:30 0:30
17	火 8:25			16:30	-- -- 0:30
18	水 8:12			19:36	2:00 2:30
19	木 8:21			17:42	-- -- 2:30

※(出)(退)(外)(戻)のいずれかのボタンを押して点灯させ、カードを差し込んだ場合は、ボタン名称に沿った欄へ印字します。(ボタン位置とタイムカードへ印字する位置は異なります)

(出)ボタンを押して打刻すると1欄目に、(退)ボタンを押して打刻すると4欄目に印字します。MX-3000 では(外)(戻)ボタンを押して打刻すると、それらの間に順番に印字します。

### 2 打刻での印字位置

IN	OUT	IN	OUT
出勤	—	—	退勤

### 4 打刻での印字位置(MX-3000)

IN	OUT	IN	OUT
出勤	外出	戻り	退勤

印字欄自動判定機能は、1日(印字段切換時刻から次の日の印字段切換時刻の1分前まで)の1回目の打刻を出勤、2回目の打刻を退勤とみなして印字欄を移動します。

外出、戻り打刻する場合はそれぞれ(外)(戻)ボタンを押して打刻します。その場合は3回目、4回目の打刻(ボタンを押さない場合)を退勤とみなして印字欄を移動します。

そのため打刻忘れ等の場合、印字欄自動判定機能では、正しい欄に印字されません。

打刻忘れ等で1日の打刻が1回・3回の場合は、集計エラーとなり、その日の時間集計はできません。

記録として正しい欄に時刻を印字したい場合は、打刻内容に該当するボタンを押して点灯させてから、カードを差し込んでください。ボタンを押した後、10秒間無操作状態が続くとランプは消灯します。点灯中に再度ボタンを押した場合も消灯し、無効となります。

メモ

#### 《外出印字について》

社員の平日定時帯内の打刻で、(外)ボタンを押してカードを差し込むと、“ガ”を附加して印字します。残業帯などでの外出打刻には、“ガ”は附加されず、時刻のみの印字となります。

メモ

タイムカードの表裏を誤ってカードを差し込んだ場合は、E-01を表示してエラー音(ピコピコピコピコ)が鳴り、印字されません。(表裏判定機能)

## ●出勤・退勤の操作（集計印字しないカードの場合）

集計印字しないカードを使用する設定（23 ページ参照）にした場合も各従業員のタイムカードの打刻回数により、本機が自動的に印字欄を判断します。従業員はタイムカードをカード差し込み口に差し込むだけで打刻できます。

((出)(退)(外)(戻)ランプは点灯していません。)

外出打刻、戻り打刻する場合はボタン操作が必要です。

メモ

(特)、(徹)ボタンは、ランプ点灯中のみ有効です。ボタンを押した後、10 秒間無操作状態が続くとランプは消灯します。点灯中に再度ボタンを押した場合も消灯し、無効となります。

※タイムカードに打刻時刻を印字するのみで、時間数の集計は行いません。

※使用人数 150 人まで。

### <出勤打刻または退勤打刻する場合>

#### 1 タイムカードを差し込みます

- ・タイムカードを自動的に引き込み、自動で印字欄を判定して印字します。

### <外出打刻または戻り打刻する場合>

#### 1 (外)・(戻)ランプを確認します

- ・(外)・(戻)ランプの点灯しているボタン名称の位置に印字します。  
打刻したい名称のランプが点灯していない場合は、ボタンを押して点灯させます。

#### 2 タイムカードを差し込みます

- ・タイムカードカードを自動的に引き込み、手順 1 で選択したボタン名称に沿った欄へ印字します。

※(出)(退)(外)(戻)のいずれかのボタンを押して点灯させ、カードを差し込んだ場合は、ボタン名称に沿った欄へ印字します。（ボタン位置とタイムカードへ印字する位置は異なります）

(出)ボタンを押して打刻すると 1 欄目に、(退)ボタンを押して打刻すると 4 欄目に印字します。(外)(戻)ボタンを押して打刻すると、それらの間に順番に印字します。

4 打刻での印字位置

IN	OUT	IN	OUT
出勤	外出	戻り	退勤

8 打刻での印字位置(MX-3000)

IN	OUT	IN	OUT
出勤 戻り 2	外出 1 外出 3	戻り 1 戻り 3	外出 2 退勤

**メモ**

タイムカードの表裏を誤ってカードを差し込んだ場合は、E-01 を表示してエラー音（ピコピコピコピコ）が鳴り、印字されません。  
(表裏判定機能)

**メモ**

「印字欄自動判定設定の変更」(37 ページ参照)で 2 を指定することで、(外)(戻)ボタンを押さずに打刻する設定に変更できます。(集計印字しないカードのみが対象)

ただし、この場合コネクテッドツールは利用できません。

### ●徹夜勤務時の操作（退勤打刻時）

本機では、次の日の印字段切換時刻を過ぎて勤務した場合でも、退勤時に(徹)ボタンを押して打刻することで、出勤と同じ日の段に印字し、集計することができます。

例：印字段切換時刻=5:00 で、社員が 16 日の 8:25 に出勤し、17 日の 6:25 に退勤した場合

#### (徹)ボタンを押さずに退勤打刻した場合

出	退	出	退
IN	OUT	IN	OUT
16月 8:25			
17月 6:25			

印字段切換時刻を過ぎてからの 1 回目の打刻は出勤打刻とみなされます。

印字段切換時刻までに退勤打刻がなかったため、集計できません。

#### (徹)ボタンを押して退勤打刻した場合

出	退	出	退
IN	OUT	IN	OUT
16月 8:25			
		6:25	12:30

印字段切換時刻を過ぎても、(徹)ボタンが押されていれば、出勤と同じ日の段に退勤打刻ができる、徹夜を示す“テ”マークが付加されます。  
(徹)ボタンを押して退勤打刻した場合は、集計して残業時間(パートの場合、勤務時間)の合計を印字します。  
(集計される時間は設定によって異なります。)

### 集計される時間（→75 ページ）

- ・社員の場合：印字段切換時刻から徹夜退勤打刻まで（休憩時間はさし引かれません）が徹夜時間として算出され、日ごとの集計・印字では、残業時間の合計を印字します。月ごとの集計では 1 ケ月の徹夜時間の累計が【徹夜】欄に印字されます。
- ・時間帯パートの場合：日ごとの集計では勤務時間の合計を印字します。月ごとの集計では、時間帯ごとの勤務時間の累計を印字し、徹夜時間の集計は行いません。
- ・フリーパートの場合：日ごとの集計では勤務時間の合計を印字します。月ごとの集計では、所定内基準時間数内の勤務と時間外の勤務の累計を印字し、徹夜時間の集計は行いません。

## 1 (徹)ボタンを押して点灯させます

- ・退勤時のみ徹夜ボタンの指定が有効となります。



## 2 タイムカードを差し込みます

- ・タイムカードを自動的に引き込み、出勤時と同じ日付段に打刻します。

### メモ

- ・徹夜操作は(徹)ボタンを押して打刻した人にのみ有効です。(次の人には継続されません)
- ・(徹)ボタンはランプ点灯中のみ有効です。ボタンを押した後、10秒間無操作状態が続くとランプは消灯します。点灯中に再度ボタンを押した場合も消灯し、無効となります。
- ・1回の勤務で印字段切換時刻を2回またぐ処理（2連続徹夜）はできません。
- ・(徹)ボタンと(特)ボタンが同時に押されていた場合は、“ツ”を付加します。

※この場合、実際の日付にかかわらず、その勤務（出勤から退勤まで）がすべて特別日の勤務として集計されます。

### ■徹夜退勤の検知

印字段切換時刻を過ぎて打刻すると、前の日の退勤打刻を忘れて次の日に出勤するのか、徹夜勤務で(徹)ボタンを押さずにカードを差し込んだか判断できないので、ブザー音をピーと鳴らしながらカードが排出され、(徹)(出)ボタンを10秒間、以下のように交互に点滅させてボタンの指定を促す「徹夜退勤の検知」という機能があります。（22ページ）

特	出	退	外	戻	撤	0.25秒間隔	特	出	退	外	戻	撤
○	●	○	○	○	○		○	○	○	○	○	●

※●は点灯を、○は消えていることを表しています。

※LEDが交互点滅中に、(出) / (退) / (外) / (戻)ボタンか(徹)ボタンを押す、もしくはカードを差し込むと点滅が止まります。ボタンを押して止めた場合は、押したボタンのLEDが点灯します。

※LEDが交互点滅中に、(出) / (退) / (外) / (戻)ボタンか(徹)ボタンを選択しないで打刻カードを再び差し込むと、出勤に決定し印字されます。

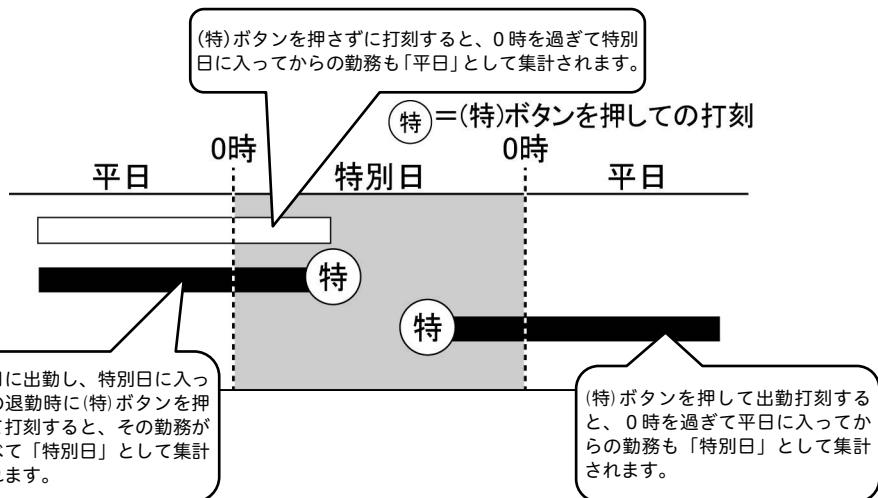
ただし、この機能は、共通設定カード1の「徹夜退勤の検知」がONに設定されている場合のみ、機能します。（22ページ参照）

次の日の印字段切換時刻またはそれ以降の時刻まで勤務した場合でも、退勤時に(徹)ボタンを押して打刻すれば、出勤と退勤を同じ日の段に印字し、徹夜勤務扱いで集計することができます。

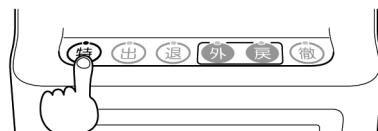
## ●「特別日」勤務時の操作（出勤時）

休日・祝日等、特定日の勤務を通常の勤務と区別して集計したい場合の操作です。社員は平日の打刻では残業合計時間を集計印字しますが、特別日は勤務時間を集計印字します。

※(特)ボタンを押して打刻した勤務データは、実際の日付にかかわらず、全勤務時間が「特別日」として集計されます。



### 1 出勤打刻時に(特)ボタンを押して点灯させます



### 2 タイムカードを差し込みます

- タイムカードを自動的に引き込み、時刻の右に「ト」を付加して印字します。

社員の場合、通常は残業合計時間を印字しますが、特別日に指定した場合は、勤務時間を印字します。

出	退	出	退
IN	OUT	IN	OUT
22日 8:21			17:25
			8:30

“ト”マークを付加

- ・特別日操作は(特)ボタンを押して打刻した人にのみ有効です。(次の人に継続されません)
- ・(特)ボタンはランプ点灯中のみ有効です。ボタンを押した後、10秒間無操作状態が続くとランプは消灯します。点灯中に再度ボタンを押した場合も消灯します。
- ・(特)ボタンは原則として出勤時に押してください。ただし出勤時に押し忘れた場合は、外出・戻り・退勤打刻時に押しても有効です。

### 集計される時間（→63、75 ページ）

- ・社員の場合：日ごとの集計では、実働時間の合計を印字します。月ごとの集計では、特別日の勤務時間の累計と特別日の深夜残業帯の実働時間の累計を集計印字します。

#### 社員集計：平日と特別日の集計の違い

平日の集計では始業時刻前の勤務時間は切捨てられますが、特別日は始業時刻前の勤務時間も集計されます。

	印字段切換時刻						印字段切換時刻-1分	
平日	出勤時間帯	定時帯	休憩帯	残業帯	深夜残業帯	残業帯		
	5:00	8:00	17:00	17:30	22:00	2:00		
特別日	休日出勤帯	休憩帯	休日出勤帯	休日深夜帯	休日出勤帯			
	5:00	17:00	17:30	22:00	2:00			

特別日の集計は、休憩帯と深夜残業帯のみ平日と同じになります。遅刻・早退・残業は集計されません。月ごとの集計では、深夜残業帯の勤務は「休深」欄に、それ以外の勤務は「休出」欄に集計します。

- ・時間帯パートの場合：月ごとの集計では、特別日の勤務時間を時間帯ごとに集計印字します。
- ・フリーパートの場合：月ごとの集計では特別日の勤務時間を所定内基準時間数内と時間外に分け、それぞれの累計を集計印字します。

# 日々の便利機能

## 日ごとの集計印字

### MX-1000

MX-1000 では、日ごとに社員は残業時間、パートは実働時間を集計して印字します。  
※ 1日の打刻数が1回の場合は集計エラーとなり、その日は集計されません。

#### 印字例

##### 《社員の場合》

年 月分		NO.		氏名		承認印			集合印			追印		
所	属	就業	日出勤	出残業	夜	年次育休	日	H	年次育休	日	H	年次育休	日	H
H 週刻早退														
			出	退	出	退								
			IN	OUT	IN	OUT								
16	月	8:00				17:00	0:30	0:30						
17	月	8:00				16:30	--:--	--:--						
18	木	8:12				19:36	2:00	2:30						
19	木	8:21				17:42	--:--	--:--						
20	金	8:23				19:46	2:00	4:30						
21	土	8:22				17:42	--:--	--:--						
22	日	8:21				17:25	8:30	13:00						
23	月	8:30				6:25	12:30	25:30						
24	木	8:45					17:30	--:--	25:30					
25	木	8:17				10:29	25:00	50:30#						
26	木	8:17												
27	木	8:23				18:35	X	--:--						
28	木	8:23				17:30	--:--	--:--						
29	木	8:23				21:19	--:--	--:--						
30	木	8:10												

年次育休 日 H 年次育休 日 H 年次育休 日 H

1日の早出・残業時間数を印字します。  
時間数が0の場合は“\_”を印字します。

累計時間数を印字します。

残業時の退勤打刻では、  
退勤時刻に“ザ”的印字を付加し、  
集計欄に残業時間数を印字します。

終業時間前の退勤（早退）には“ソ”的印字を付加します。

(特)ボタンを押して退勤打刻した場合、その日の実働時間数を印字します。

始業時刻後の出勤（遅刻）には“チ”的印字を付加します。

(徹)ボタンと(特)ボタンの両方を押して打刻すると、“ツ”的印字を付加します。

(徹)ボタンを押して退勤打刻すると、“テ”的印字を付加して集計し、残業時間数を集計欄に印字します。

退勤時刻時に勤務インターバル警告対象となった場合に“#”の印字を付加します。

打刻忘れ等で1日の打刻が1回の場合は、集計されません。“×”の印字を付加するには、集計できない打刻パターンです。

(この例は出勤を打ち忘れて、退勤打刻したため)  
その後の日次時間数印字および月次累計印字にはすべてアンダーライン※1が印字されます。

### 《時間帯パートの場合》

	出	退	出	退		
	IN	OUT	IN	OUT		
16	月 10:26			20:08	9:30	9:30
17	火 10:55			17:37	7:30	17:00
18				18:44	X	
19	木 7:50			17:28	9:15	26:15
20	金 8:24			14:41	6:00	32:15

打刻忘れ等で1日の打刻が1回の場合は、集計されません。“×”の印字を付加するのは、集計できない打刻パターンです。

(この例は出勤を打ち忘れて、退勤打刻したため)

その後の日次時間数印字および月次累計印字にはすべてアンダーライン※1が印字されます。

日ごとの実働時間数を印字します。

累計時間数を印字します。

### 《フリーパートの場合》

	出	退	出	退		
	IN	OUT	IN	OUT		
16	月 8:13			17:24	8:00	8:00
17	火 8:27			16:31	7:15	15:15
19	木 9:10			19:36	9:15	24:30

日ごとの実働時間数を印字します。

累計時間数を印字します。

### ●時刻が改ざんされた場合の印字 (MX-1000)

①時計の合わせかた (14 ページ)

②設定・集計カードを紛失した場合の時計合わせ (79 ページ) で時刻を 5 分以上変更 (改ざん) した場合、変更直後の1回目の打刻のみ、印字された時刻の“時”的数字の大きさを小さくし、“>”を付加して印字します。(ただし、変更前の正しい時刻に時計の設定を戻した場合には、改ざんを示す印字はされず、通常どおりの印字となります。)

通常の時刻印字

改ざんされた場合の印字

17:28 >17:28

MX-3000

MX-3000 では、日ごとに社員は残業時間、パートは実働時間を集計して印字します。  
※1日の打刻数が1回、3回の場合は集計エラーとなり、その日は集計されません。

## 印字例

### 《社員の場合》

年 月分		NO. 氏名		0626346	
				承認印 痞合印 担当印	
就業 所属					
早出時の出勤打刻では、出勤時刻に“ハ”的印字を付加し、退勤打刻のとき集計欄に早出時間数を印字します。		1日の早出・残業時間数を印字します。 時間が数が0の場合は“”を印字します。		年次有休 日 H	
終業時間前の退勤（早退）には“ソ”的印字を付加します。		累計時間数を印字します。		残業時の退勤打刻では、退勤時刻に“ザ”的印字を付加し、集計欄に残業時間数を印字します。	
(特)ボタンを押して退勤打刻した場合、その日の実働時間数を印字します。		外出時に(外)ボタンを押して打刻すると、“ガ”的印字を付加します。		(徹)ボタンを押して退勤打刻すると、“テ”的印字を付加して集計し、残業時間数を集計欄に印字します。	
始業時刻後の出勤(遅刻)には“チ”的印字を付加します。		打刻忘れ等で1日の打刻が1回、3回の場合は、集計されません。“×”の印字を付加するのは、集計できない打刻パターンです。 (この例は戻りを打ち忘れて、退勤打刻したため)その後の日次時間数印字および月次累計印字にはすべてアンダーライン※1が印字されます。		退勤時刻時に勤務インターバル警告対象となった場合に“#”の印字を付加します。	

### 《時間帯パートの場合》

	出 IN	退 OUT	出 IN	退 OUT		
16	月 9:30			17:45	8:15	8:15
17	火 6:11			12:54	6:30	14:45
18	*12:04			22:18	10:00	24:45
19	木 10:28	14:30	15:23	18:42	7:00	31:45
20				17:32	X	
21	土 8:19			20:05	11:30	43:15
22	日 10:57			16:14	5:00	48:15

※1

打刻忘れ等で1日の打刻が1回の場合には、集計されません。“×”の印字を付加するのは、集計できない打刻パターンです。  
 (この例は出勤を打ち忘れて、退勤打刻したため)  
 その後の日次時間数印字および月次累計印字にはすべてアンダーライン※1\_が印字されます。

日ごとの実働時間数を印字します。

累計時間数を印字します。

### 《フリーパートの場合》

	出 IN	退 OUT	出 IN	退 OUT	日ごとの実働時間数を印字します。	
16	月 8:13			17:24	8:00	8:00
17	火 8:27			16:31	7:15	15:15
19	木 9:10			19:36	9:15	24:30

累計時間数を印字します。

### ●時刻が改ざんされた場合の印字 (MX-3000)

- ①時計の合わせかた (14 ページ)
- ②設定・集計カードを紛失した場合の時計合わせ (79 ページ) で  
時刻を 5 分以上変更 (改ざん) した場合、変更直後の1回目の打刻のみ、印字された時刻の“時”的数字の大きさを小さくし、“>”を付加して印字します。(ただし、変更前の正しい時刻に時計の設定を戻した場合には、改ざんを示す印字はされず、通常どおりの印字となります。)

#### 《最大 4 打刻の場合》

通常の時刻印字

17:28

改ざんされた場合の印字

>17:28

#### 《最大 8 打刻の場合》

通常の時刻印字

19:24

改ざんされた場合の印字

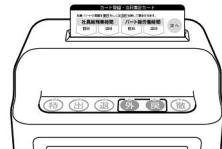
>19:24

## 社員総残業時間・パート総労働時間の表示(表示のみ)

前日、当日それぞれの、打刻した社員全員の残業時間の合計、打刻したパート全員の労働時間の合計を表示することができます。(印字はされません)

### 1 「カード登録・当月集計カード」を差し込みます

- 「社員総残業時間／パート総労働時間」の印刷ガイドが見える位置でカードは停止します。



### 2 表示したい内容のボタンを押します

- [社員総残業時間 前日] (出)ボタンを押すと、前日打刻した社員の残業時間の合計を表示します。  
※(特)ボタンを押して打刻した社員がいる場合は、その社員の1日の実働時間が合計に含まれます。
- [社員総残業時間 当日] (退)ボタンを押すと、当日打刻した社員の残業時間の合計を表示します。  
※(特)ボタンを押して打刻した社員がいる場合は、その社員の1日の実働時間が合計に含まれます。
- [パート総労働時間 前日] (外)ボタンを押すと、前日打刻したパートの労働時間の合計を表示します。
- [パート総労働時間 当日] (戻)ボタンを押すと、当日打刻したパートの労働時間の合計を表示します。



#### メモ

- 当日、退勤していない従業員がいる場合、当日の実績時間は正しく表示されません。
- 当日、設定を変更した場合、正しく表示されない場合があります。
- また、時計を過去や未来の日時に変更して打刻した場合、上記の時間数は0になることがあります。

### 3 [次へ](撤)ボタンを複数回押して、次に[終了](撤)ボタンを押します

- 設定カードが排出され、現在時刻が表示されます。

# 毎月の操作.....

下記表の「カード登録：要」に該当する従業員が使用するタイムカードは、利用前に毎月「カード登録」操作が必要となります。社員／パート（時間帯パートまたはフリーパート）／集計印字なしカードごとにまとめて「カード登録」操作を行ってください。

集計印字	集計方式	従業員種別	締日	カード登録
①全員印字する	④社員	社員	1	
			2	要
	⑤時間帯パート + 社員	時間帯パート	1	
			2	要
		社員	1	要
			2	要
	⑥フリーパート + 社員	フリーパート	1	
			2	要
		社員	1	要
			2	要
②カード毎に印字する	⑦社員	社員	1	要
			2	要
		集計なし	1	
			2	要
	⑧時間帯パート	時間帯パート	1	
			2	要
		集計なし	1	要
			2	要
	⑨フリーパート	フリーパート	1	
			2	要
		集計なし	1	要
			2	要
③全員印字しない	—	集計なし	1	
			2	要

例えば、以下の運用方法では、カード登録せずに使用できます。

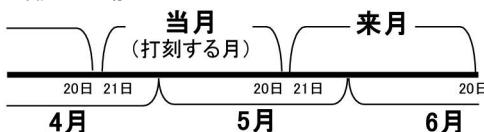
- ・社員で締日1だけを使用 → 「①全員印字する」と「④社員」を選択
- ・時間帯パートで締日1だけを使用 → 「①全員印字する」と「⑤時間帯パート+社員」を選択
- ・フリーパートで締日1だけを使用 → 「①全員印字する」と「⑥フリーパート+社員」を選択
- ・全員集計印字せず締日1を使用 → 「③全員印字しない」を選択

原則としてカード登録は使用する前月に行います。

月の途中から勤務を開始した場合などは、当月に登録を行います。

**メモ** ここでいう「月」とは締日の翌日から次の締日を1単位とする月です。

例) 20日を締日として設定した場合



4月21日から5月20日までに勤務を開始する社員がいる場合には、「当月」分の登録をします。  
5月21日から6月20日まで使用するカードは、4月21日から5月20日の間に「来月」分として登録します。

# カードの登録

## 社員用のカード登録

### 1 「カード登録・当月集計カード」を差し込み、[次へ](撤)ボタンを押します

- 「社員カード登録」の印刷ガイドが見える位置となるまで [次へ](撤)ボタンを押します。

登録・集計操作の際は、ここに登録件数を表示します。数字の位置が、登録されている月を示しています。



《60人仕様の状態》

10--- --- 10--- --- 10

前月の登録件数 当月の登録件数 来月の件数

《150人仕様の状態》

100--- --- 100

当月の登録件数 来月の件数

### A 来月分の社員カード登録を行う場合

- (1) [来月 締日1](外)ボタンまたは[来月 締日2](戻)ボタンを押してください。

カードが排出されて右図の表示になります。  
集計方式を「④社員」に設定している場合は、  
[来月 締日1](外)ボタン操作は無効となります。

- (2) 新規タイムカードのおもて面（青い印刷面）  
を差し込んでください。

タイムカードおもて面（青い印刷面）の右下  
に締日・“社”マーク・登録日・時間と“来”  
マーク（右図）を印字してカードが排出され  
ます。

（連続して次の社員カード登録ができます）

来月の社員カード登録枚数  
休憩1開始時刻



表示が点滅します。

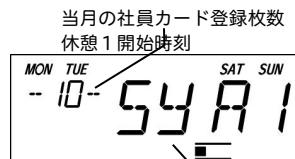
SYA1：社員締日1

SYA2：社員締日2

2020年01月20日 21:58 来

## B 当月分の社員カード登録を行う場合

- (1) [当月 締日1](出)ボタンまたは[当月 締日2](退)ボタンを押してください。  
カードが排出されて右図の表示になります。  
集計方式を「④社員」に設定している場合は、  
[当月 締日1](出)ボタン操作は無効となります。
- (2) 新規タイムカードのおもて面（青い印刷面）  
を差し込んでください。  
タイムカードおもて面（青い印刷面）の右下  
に締日・“社”マーク・登録日・時間と“当”  
マーク（右図）を印字してカードが排出され  
ます。  
(連続して次の社員カード登録ができます)



表示が点滅します。

SYA1：社員締日1

SYA2：社員締日2

シメビ 20日 社 01.02 05:15 当

## 2 操作を終了します

- いずれかのボタンを押すか、「カード登録・当月集計カード」を差し込みます。

重要

来月分として社員登録したカードを誤って当月中（締日が過ぎる前）に打刻した場合、そのカードは当月カードとしても登録・打刻されます。  
誤って打刻した場合は、そのカードを来月分でカード登録クリア（77 ページ）した後、新しいタイムカードで来月分として再度登録してください。

## パート用のカード登録

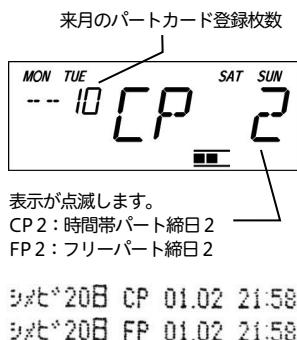
### 1 「カード登録・当月集計カード」を差し込み、[次へ](撤)ボタンを押します

- ・「パートカード登録」の印刷ガイドが見える位置となるまで[次へ](撤)ボタンを押します。



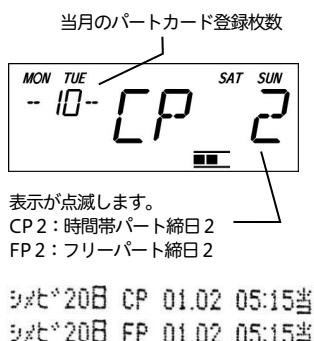
### A 来月分のパートカード登録を行う場合

- (1) [来月 締日 2](戻)ボタンを押してください。カードが排出されて右図の表示になります。
- (2) 新規タイムカードのおもて面(青い印刷面)を差し込んでください。  
タイムカードおもて面(青い印刷面)の右下に締日・“CP”または“FP”マーク・登録日・時間と“来”マーク(右図)を印字してカードが排出されます。  
(連続して次のパートカード登録ができます)



### B 当月分のパートカード登録を行う場合

- (1) [当月 締日 2](退)ボタンを押してください。カードが排出されて右図の表示になります。
- (2) 新規タイムカードのおもて面(青い印刷面)を差し込んでください。  
タイムカードおもて面(青い印刷面)の右下に締日・“CP”または“FP”マーク・登録日・時間と“当”マーク(右図)を印字してカードが排出されます。  
(連続して次のパートカード登録ができます)



## 2 操作を終了します

- ・いずれかのボタンを押すか、「カード登録・当月集計カード」を差し込みます。

重要

来月分としてパート登録したカードを誤って当月中（締日が過ぎる前）に打刻した場合、そのカードは当月カードとしても登録・打刻されます。誤って打刻した場合は、そのカードを来月分でカード登録クリア（77 ページ）した後、新しいタイムカードで来月分として再度登録してください。

### 集計印字なし用のカード登録

#### 1 「カード登録・当月集計カード」を差し込み、[次へ](撤)ボタンを押します

- ・「集計印字なしカード登録」の印刷ガイドが見える位置となるまで[次へ](撤)ボタンを押します。



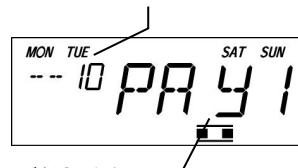
#### A 来月分の集計印字なしカード登録を行う場合

- (1) [来月 締日1](外)ボタンまたは[来月 締日2](戻)ボタンを押してください。

カードが排出されて右図の表示になります。

集計印字を「③全員印字しない」または集計方式を「④社員」に設定している場合は、[来月 締日1](外)ボタン操作は無効となります。

来月の集計印字なしカード登録枚数



表示が点滅します。

PAY1 : 集計印字なしカード締日1

PAY2 : 集計印字なしカード締日2

- (2) 新規タイムカードのおもて面（青い印刷面）を差し込んでください。

タイムカードおもて面（青い印刷面）の右下に締日・登録日・時間と“来”マーク（右図）を印字してカードが排出されます。

（連続して次の集計印字なしカード登録ができます）

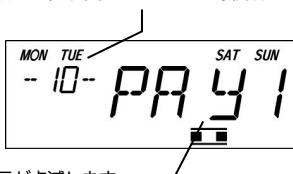
シリ#208 01.02 21:58來

## B 当月分の集計印字なしカード登録を行う場合

- (1) [当月 締日 1] (出) ボタンまたは[当月 締日 2] (退) ボタンを押してください。

カードが排出されて右図の表示になります。  
集計印字を「③全員印字しない」または集計方式を「④社員」に設定している場合は、[当月 締日 1] (出) ボタン操作は無効となります。

来月の集計印字なしカード登録枚数



表示が点滅します。  
PAY1 : 集計印字なしカード締日 1  
PAY2 : 集計印字なしカード締日 2

- (2) 新規タイムカードのおもて面（青い印刷面）を差し込んでください。

タイムカードおもて面（青い印刷面）の右下に締日・登録日・時間と“当”マーク（右図）を印字してカードが排出されます。

（連続して次の集計印字なしカード登録ができます）

シリ 208 01.02 05:15 当

## 2 操作を終了します

- いずれかのボタンを押すか、「カード登録・当月集計カード」を差し込みます。

重要

来月分として集計印字なしカード登録したカードを誤って当月中（締日が過ぎる前）に打刻した場合、そのカードは当月カードとしても登録・打刻されます。

誤って打刻した場合は、そのカードを来月分でカード登録クリア（77 ページ）した後、新しいタイムカードで来月分として再度登録してください。

# 前月集計印字のしかた

前月分タイムカードの月次の集計印字を行う方法です。

※打刻したタイムカードを紛失した場合は、集計できません。

打刻したタイムカードを折り曲げたり、汚したりすると集計できない場合があります。

## 1 「前月集計カード」を差し込みます

- ・「前月集計カード」を差し込むと、カードが排出されて、右の表示になります。
- ・「前月集計カード」を抜き取ってください。

前月の打刻（登録）カード枚数



表示が点滅します。

## 2 前月使用した打刻カードを差し込み、集計印字します

- ・前月の打刻カードのうら面（赤色の印刷面）を手前にして差し込むと、集計結果を印字してカードが排出されます。  
(連続して次のカードの集計印字ができます)

## 3 操作を終了します

- ・いずれかのボタンを押すか、「前月集計カード」を差し込みます。



メモ

- 打刻忘れ等で、日ごとの集計ができなかった日がある場合、集計欄に印字される数字にはすべてアンダーラインが付加されます。

		集計できなかった日			
		出	退	出	退
		IN	OUT	IN	OUT
16				18:35	X )
17	日	8:23		17:30	----- 50:30
18	月	8:10		21:19	3:30 54:00



就業	8:00	H	11	早残	19:30	H	5	深夜	0:00	H	0	B
遅出	1:00	H	2	休出	28:30	H	2	休深	0:00	H	0	B
休外	4:00	H	2	徴夜	6:00	H	2	休D	04.01	09時	用	

集計結果はここに  
印字されます。

## 集計結果の印字例

《社員登録したタイムカードの集計欄》

所定内勤務時間数／日数	早出・残業帯時間数／日数	深夜残業帯残業時間数／日数	
遅刻・早退時間数 回数	就業 /A 164:00 21 遅早 /D 1:30 2 特別日勤務時間数 日数	早残 /B 10:30 3 休出 /休A 8:00 1 私外 /休C 2:30 3 徹夜 /休D 1:00 1	深夜 /C 12:00 2 休深 /休B 0:00 特別日深夜残業帯 残業時間数
			集計対象月 月(前=前月、当=当月)
			集計した月.日 時
私用外出時間数／回数	徹夜(印字段切換時刻 以降の勤務)時間数／日数		集計種別(社員として集計)

《時間帯パートのタイムカードの集計欄》

A 帯勤務時間数／日数(平日)	B 帯勤務時間数(平日)	C 帯勤務時間数(平日)	
D 帯勤務時間数 (平日)	就業 /A 10:00 16 遅早 /D 7:00 特別日勤務時間数 日数(特別日)	早残 /B 50:00 休出 /休A 0:00 私外 /休C 2:00 徹夜 /休D 0:00	深夜 /C 10:00 休深 /休B 6:30 特別日帶勤務時間数 (特別日)
			集計対象月 月(前=前月、当=当月)
C 帯勤務時間数(特別日)	D 帯勤務時間数(特別日)		集計した月.日 時
			集計種別 (時間帯パートとして集計)

《フリーパートのタイムカードの集計欄》

基準時間数内勤務時間数／日数(平日)	時間外勤務時間数(平日)	
就業 /A 96:00 12 遅早 /D H 回 特別日勤務時間数 日数(特別日)	早残 /B 10:00 5 休出 /休A 8:00 1 徹夜 /休D H 回	深夜 /C 0:30 休深 /休B FP 特別日時間外勤務時間数 (特別日)
		集計対象月 月(前=前月、当=当月)
		集計した月.日 時
基準時間数内勤務時間数／日数(特別日)		集計種別 (フリーパートとして集計)

# 当月集計印字のしかた

月の途中で勤務を終了する従業員がいる場合等の当月分の集計印字を行います。

**メモ** 集計印字は、原則として締日が過ぎてから前月分として行います。

※打刻したタイムカードを紛失した場合は、集計できません。

打刻したタイムカードを折り曲げたり、汚したりすると集計できない場合があります。

## 1 「カード登録・当月集計カード」を差し込み、[次へ](撤)ボタンを押します

- 「当月集計印字・カード登録クリア」の印刷ガイドが見える位置となるまで[次へ](撤)ボタンを押します。



## 2 [当月集計印字](出)ボタンを押します

- 「カード登録・当月集計カード」が排出されますので、抜き取ってください。  
この時、右図の表示となります。



## 3 当月使用中の打刻カードを差し込み、集計印字します

- 当月の打刻カード赤色の印刷面を手前にしてを差し込むと、集計結果を印字してカードが排出されます。(連続して次のカードの集計印字ができます)

## 4 操作を終了します

- いずれかのボタンを押すか、「カード登録・当月集計カード」を差し込みます。



**メモ**

- 打刻忘れ等で、日ごとの集計ができなかった日がある場合、集計欄に印字される数字にはすべてアンダーラインが付加されます。
- 印字欄は、前ページの「前月集計印字のしかた」と同じです。  
※「集計対象月」部分には“当”と印字されます。

# カード登録のクリア

登録したタイムカードをクリアする方法です。

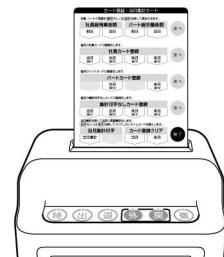
タイムレコーダーに記憶されている個人登録データをクリアし、タイムカードを初期化します。

メモ

登録・打刻したタイムカードを紛失した場合は、そのカードの登録をクリアできません。

## 1 「カード登録・当月集計カード」を差し込み、[次へ] (撤)ボタンを押します

- 「当月集計印字・カード登録クリア」の印刷ガイドが見える位置となるまで[次へ] (撤)ボタンを押します。



## 2 カード登録をクリアします

### ・当月分のカード登録をクリアする場合

カード登録クリアの[当月](外)ボタンを押すと、「カード登録・当月集計カード」が排出されて右図の表示になります。

登録をクリアしたいタイムカードをおもて面（青い印刷面）にして差し込んでください。

カードが引きこまれてクリア処理された後、カードが排出されて現在時刻を表示します。（ピーと音がして、「当月の打刻（登録）カード枚数」欄にクリア後の登録枚数を、2秒間点滅表示します）

当月の打刻（登録）カード枚数



### ・来月分のカード登録をクリアする場合

カード登録クリアの[来月](戻)ボタンを押すと、「カード登録・当月集計カード」が排出されて右図の表示になります。

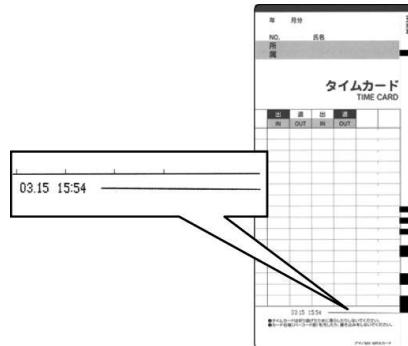
登録をクリアしたいタイムカードをおもて面（青い印刷面）にして差し込んでください。

カードが引きこまれてクリア処理された後、カードが排出されて現在時刻を表示します。（ピーと音がして、「来月の打刻（登録）カード枚数」欄にクリア後の登録枚数を、2秒間点滅表示します）

来月の打刻（登録）カード枚数



カード登録をクリアすると、タイムカードの表面（青色の印刷面）右下の登録印字のところに“——”が重ねて印字されます。（カード登録しないで使用しているタイムカードの登録をクリアしてもタイムカードおもて面右下に“——”が印字されます。）  
“——”印字の左側には、クリアした日時も印字されます。



### メモ

- ・連続して次のタイムカードを登録クリアすることはできません。複数枚のタイムカードを登録クリアする場合は、手順1から操作を繰り返してください。
- ・図の(CL)表示のときにいずれかのボタンを押すと、現在時刻を表示して操作を終了します。
- ・また、1分～2分間、無操作状態が続いた場合には、自動的にクリア操作を中止し、現在時刻を表示します。  
※パスワード（4桁）が設定されている場合、パスワード入力が要求されます。

# 設定、集計カードを紛失した場合

万一、共通設定カード、集計カードをなくした場合でも、以下の操作ができます。

- ・時計合わせ……… 1 → A → 2
- ・勤務時間の集計…… 1 → B → 2

の手順に従ってください。

重要



注意!

- ・緊急の際の操作方法です。設定、集計カードがある場合は、必ずカードを使用して操作を行ってください。
- ・上ケースが開いた状態でカード引きこみ、印字などを行いますので指などをはさまないよう充分注意して操作を行ってください。

設定・集計カードを紛失した場合は、本機をお求めの販売店で「MX-1000/3000 の設定カード」とご指定のうえ、お買い求めください。

## 1 電源が入った状態で本体上部の上ケースを外します

お願い

ケースを開ける場合は、スチールデスクなどの大きな金属に触れるなど除電して(静電気を取り除いて)から作業してください。故障等の原因となることがあります。

- ・図のようにケース上部を持ち上げます。



- ・上ケースを開けると右の表示 (OPEN) が点滅します。  
Wi-Fi 機能が有効の場合は左側に WIFI が点灯しています。

OPEN

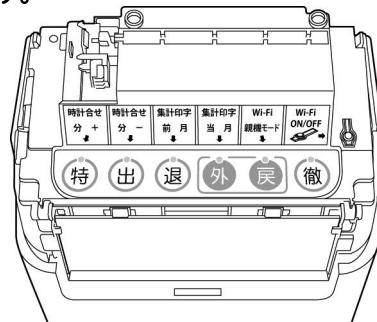
## A 時計合わせ

### ① (時計合せ 分+)ボタンを2秒以上押します。

- ・(時計合せ 分+)ボタンを2秒以上押すと、ピピピピと音が鳴り、現在時刻を表示します。

### ② 時刻を変更します。

- ・(時計合せ 分+)ボタンを押すごとに1分ずつ時刻が進みます。
- ・(時計合せ 分-)ボタンを押すごとに1分ずつ時刻が戻ります。



**メモ** ボタンを押した瞬間に0秒スタートします。  
ボタンを押しつづけても早送りはできません。

→手順 2 へ

\*パスワード（4桁）が設定されている場合、パスワード入力が要求されます。

## B 勤務時間の集計

- ・集計印字前月 → (集計印字前月)ボタンを2秒以上押すと、ピピピピと音が鳴って右の表示になります。

前月打刻したタイムカードを差し込んでください。  
集計・印字してカードが排出されます。



**メモ** 連続して次のカードの集計ができます。

- ・集計印字当月 → (集計印字当月)ボタンを2秒以上押すと、ピピピピと音が鳴って右の表示になります。

今月使用中のタイムカードを差し込んでください。  
集計・印字して排出します。



**メモ** 連続して次のカードの集計ができます。

→手順 2 へ

## 2 上ケースをもとに戻します

- ・操作を終了し、現在時刻を表示します。

# こんなときには.....

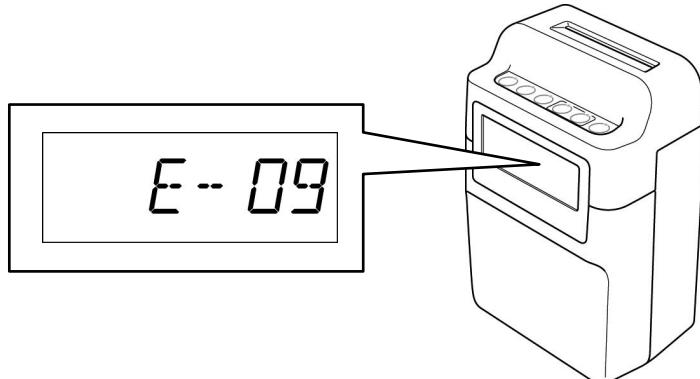
故障かな？と思ったときにご覧ください。

現象	原因と処置
カードが入らない	停電中。 →復電するまでお待ちください。 電源プラグが抜けている。 →電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。
印字しないで排出する	カードの表裏を間違えて差し込んだ。 →反対の面のタイムカードを差し込んでください。 カード差し込みの失敗。 →軽く押し気味にカード差し込み口にタイムカードを差し込んでください。
時計が進んでいる (時計が遅れている)	時刻合わせの間違い。 →時計を合わせてください (14 ページ)
日付が違う	日付合わせの間違い。 →日付を合わせてください (15 ページ)
印字が薄い	リボンカセットの寿命。 →リボンカセットを交換してください。
印字が欠ける	リボンカセットの装着ミス。 正しくリボンカセットをセットしてください。 (86 ページ)
印字する段が異なる	締日設定の間違い。 →締日を設定し直してください。 (18 ページ) 印字段切換時刻の合わせ間違い。 →印字段切換時刻を合わせてください。 (19 ページ)
数字の印字が流れる	使いかたの誤り。 →タイムカードに印字中にカードを引き抜くと故障の原因になります。
時の印字が小さい	出勤打刻にマーク ("ト" "チ"など) が付加されている。 →故障ではありません。 時刻を修正した →時刻を修正すると印字が小さくなります。 故障ではありません。
表示器にエラーコード (E-XX) を表示する	次ページをご覧ください。
表示器にエラーコード (P-XX) を表示する	85 ページをご覧ください。

## エラーコード

本機にエラーが発生するとエラー音（ピコピコピコ音またはピーピーピー音）が鳴ります。エラーの内容によっては表示器にエラーコード（E-XX）を表示します。また、設定時に設定値（パラメータ）に矛盾がある場合は、パラメータエラーとなり、エラーコード（P-XX）を表示するとともに、エラー音（ピー）が鳴ります。この場合、各エラーコード表を参照し、エラー原因を確認してください。

### ■E-09 エラーの表示例■



### ■エラーコード表■

- \*特定タイムカードのみでエラー表示する場合は、新規カードと取り替えてください。
- \*また、どんなタイムカードでも、同じエラーコードが表示される場合は、弊社 MX-1000/3000（コネクテッドタイムレコーダー）に関するお問い合わせ窓口へご連絡ください。
- \*機械に起因すると思われるエラーが発生した場合、電源コンセントから電源プラグを抜いて、10秒程してから、再度、電源プラグを差し込むと復帰する可能性があります。  
復帰しない場合はエラーコードを確認して、弊社 MX-1000/3000（コネクテッドタイムレコーダー）に関するお問い合わせ窓口へご連絡ください。

エラーコード	エラー内容 および 対処のしかた
E-00 E-02 E-03 E-04 (機械動作エラー)	機械動作エラー（メモリーエラー、プリンターエラー等）です。電源コンセントから電源プラグを抜き、10秒程してから再度、電源プラグを差し込んでください。 復帰しない場合はエラーコードを確認のうえ、弊社 MX-1000/3000（コネクテッドタイムレコーダー）に関するお問い合わせ窓口へご連絡ください。
E-01 E-05 E-06 E-07 E-08 E-09 (タイムカードエラー)	カードの表裏を確認し、まっすぐにカード差し込み口にもう1度差し込んでください。タイムカードに傷や破れなどがある場合は、タイムカードを新しいものと取り替えてください。
E-10 (ボタン未選択エラー)	出勤・退勤・外出・戻りボタンのいずれかを選択してから、タイムカードを再度差し込んでください。

エラーコード	エラー内容 および 対処のしかた
E-11 (ボタン無効エラー)	外出・戻りボタン無効エラーです。MX-1000 の社員、パート時に使用できない外出・戻りボタンを押した場合に出来ます。 ボタンを押さずにタイムカードを再度差し込んでください。
E-12 (無効カードエラー)	無効なカードを差し込みました。正しいタイムカードを差し込んでください。
E-13 (カード引抜きエラー)	カードの引き抜き方に問題があります。タイムカードを再度、差し込み直してください。カードが上昇するまで引き抜かないでください。
E-14 (カード取り損ねエラー)	打刻した後、5秒以内に同じタイムカードを差し込みました。 5秒たってから、タイムカードを差し込んでください。
E-15 (打刻数エラー)	<MX-1000 の場合> 社員・パートで 2 打刻終了したカードが挿入された時のエラーです。 集計印字しないカードで 4 打刻終了したカードが挿入された時のエラーです。 <MX-3000 の場合> 社員・パートで 4 打刻終了したカードが挿入された時のエラーです。 集計印字しないカードで最大打刻数まで打刻終了したカードが挿入された時のエラーです。
E-16 (重打ち防止エラー)	出勤打刻済みカードで、再度出勤ボタンを押してカードに印字しようとしました。 既に印字済みの欄に重ね打ちはできません。他のボタンを押してください。 外出・戻り・退勤打刻済みの場合も同様です。
E-17 (時計逆進エラー)	時計を戻して打刻しようとしました。 時計を正しい時刻に合わせてください。
E-18 (集計方式相違)	集計方式相違エラーです。月の途中で時間帯パートからフリーパートに設定変更した場合（その逆も同じ）に発生します。 新しいタイムカードを使ってください。
E-19 (徹夜処理エラー)	既に今日の出勤等の打刻をしてしまった場合、前日の徹夜打刻はできません。 なお、退勤の場合のみ徹夜打刻ができます。
E-20 (再登録エラー)	登録済みのカードを再登録しようとしました。
E-21 (該当データなしエラー)	該当するデータがありません。
E-22 (登録件数エラー)	登録件数が上限を超えました。 通常打刻にて集計印字する設定では 61 枚以上、集計印字しない設定では 151 枚以上の打刻はできません。
E-23 (同一カードNoエラー)	締日の設定変更により、同じカードNoの 2 件の異なるデータが発生しました。 新しいタイムカードを使ってください。

エラーコード	エラー内容 および 対処のしかた
E-30 (Wi-Fi 未設定エラー)	ネットワークに関する機能を利用する場合は Wi-Fi 設定を有効にする必要があります。
E-31 (Wi-Fi 未接続エラー)	Wi-Fi に接続できていません。「コネクテッドツール接続ガイド」を参照して Wi-Fi 接続設定に誤りがないことを確認してください。
E-40 (クラウドサービス登録済エラー)	コネクテッドツール（クラウドサービス）へタイムレコーダーがすでに登録されています。 お客様自身で既に登録操作を行っている場合、このエラーが表示されても問題ありません。 お客様が登録操作を行っていない場合に表示される場合は、「コネクテッドツール接続ガイド」を参照して初期化操作を実施してください。
E-50 E-51 (WPS 実行エラー)	WPS の実行に失敗しました。 接続先の機器（ルーター）の状態を確認して、再度実行してください。
E-60 E-61 E-62 E-63 (クラウドサービス接続エラー)	コネクテッドツール（クラウドサービス）へ接続できませんでした。 インターネット接続環境に問題がないか確認してください。
E-64 (クラウドサービス未登録エラー)	コネクテッドツール（クラウドサービス）へタイムレコーダーが登録されていません。 登録操作は「コネクテッドツール接続ガイド」を参照してください。
E-98	弊社 MX-1000/3000(コネクテッドタイムレコーダー)に関するお問い合わせ窓口までご連絡ください。

\*設定操作において、入力する設定値（パラメータ）に矛盾があると、以下のパラメータエラーとなります。

エラーコード	パラメータエラー内容
P-12 (定時設定エラー)	1) 始業時刻より以前の時刻で終業時刻を設定。 2) 印字段切換時刻をまたいで終業時刻を設定。 3) 始業時刻と同時刻で終業時刻を設定。 4) 印字段切換時刻と同時刻で終業時刻を設定。
P-14 (深夜設定エラー)	1) 深夜開始時刻より以前の時刻で深夜終了時刻を設定。 2) 印字段切換時刻と同時刻で深夜残業開始時刻を設定。 3) 終業時刻より以前の時刻で深夜開始時刻を設定。
P-15～P-18 (社員休憩設定エラー)	1) 休憩開始時刻より以前の時刻で休憩終了時刻を設定。 2) 2つ以上の休憩時間帯を重複して設定。 3) 印字段切換時刻をまたいで休憩時間帯を設定。 4) 始業時刻をまたいで休憩時間帯を設定。 5) 終業時刻をまたいで休憩時間帯を設定。 6) 終業時刻と同時刻で休憩開始時刻または休憩終了時刻を設定。 7) 定時帯を包含した休憩時間帯を設定。 8) 深夜残業帯を包含した休憩時間帯を設定。
P-23 P-24 (時間帯別パート設定エラー)	1) B時間帯開始時刻と同時刻でC時間帯開始時刻を設定。 2) B時間帯開始時刻と同時刻でD時間帯開始時刻を設定。 3) C時間帯開始時刻と同時刻でD時間帯開始時刻を設定。
P-25～P-28 (時間帯別パート 休憩設定エラー)	1) 休憩開始時刻より以前の時刻で休憩終了時刻を設定。 2) 2つ以上の休憩時間帯を重複して設定。 3) 印字段切換時刻をまたいで休憩時間帯を設定。 4) 時間帯を包含した休憩時間帯を設定。
P-33 P-34 (フリーパート設定エラー)	1) 基準時間数と休憩時間数が同じ設定。 2) 基準時間数以上の休憩時間を設定。
P-60 (印字欄自動判定エラー)	1) Wi-Fi機能が有効で印字欄自動判定設定に2を設定。

# 印字が薄くなってきたら .....



警告



ぬれ手禁止



注意



プラグを抜く

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の  
原因となることがあります。

タイムカードの印字が薄くなった場合、リボンカセットを交換してください。

お願い

上ケースを開けてリボンカセット交換等を行うときは、スチールデスクなどの大きな金属に触れるなど除電して(静電気を取り除いて)から作業してください。故障等の原因となることがあります。

メモ

リボンカセットの品名は「CE-320050」とご用命ください。

## 1 電源が入った状態で本体上部の上ケースを外します

- 図のようにケース上部を持ち上げます。



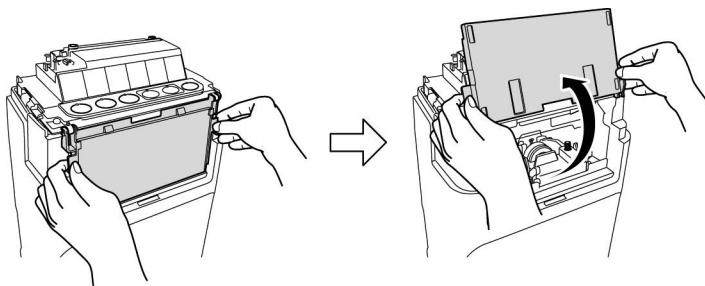
上ケースを開けると下の表示（OPEN）が点滅します。  
Wi-Fi機能が有効の場合は左側にWIFIが点灯しています。

OPEN

## 2 電源プラグを電源コンセントから抜きます

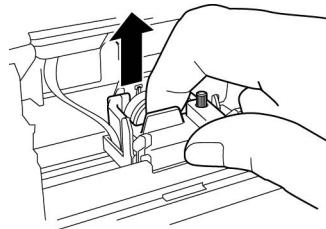
## 3 表示器を持ち上げます

- 図のように表示器の両側にあるつまみを持ち、カチッと音がするまで持ち上げます。



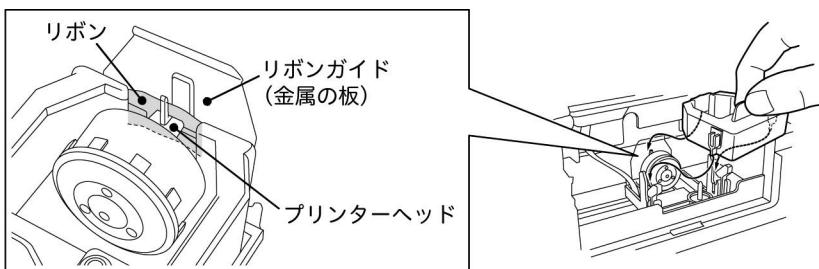
## 4 古いリボンカセットを取り外します

- 図のようにリボンカセットを持ち、手前に引き上げて取り外します。



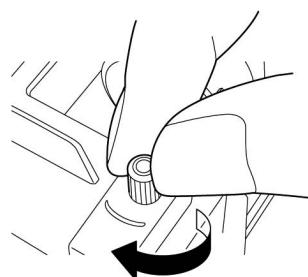
## 5 新しいリボンカセットを取り付けます

- リボンをリボンガイドとプリンターヘッドの間に入れます。リボンカセットを「パチッ」と音がするまで押して取り付けます。



## 6 リボンのたるみを取ります

- つまみを時計方向に回し、たるみを取ります。



## 7 電源プラグを電源コンセントに差し込みます

## 8 表示器をもとに戻し、上ケースを取り付けます

# 設置のしかた

## 設置場所のご注意



注意 故障の原因となりますので、次のような場所に設置しないでください。



直射日光、熱源のそばには設置しない。

禁止



雨水のかかる場所には設置しない。

水ぬれ禁止



強い振動、衝撃を機器に与えない。

禁止



腐食性ガス、蒸気、塩害のある場所には設置しない。

禁止



調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があがるような場所、ほこりの多い場所  
やゴキブリなどがいる場所に置かない。

禁止



強電解や強磁界となる場所には設置しない。

禁止

## 設置のしかた

台に置いて使用する場合は、水平な台に置いてご使用ください。



注意



ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。  
落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。

禁止



固定用具使用

本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。

落下してけがの原因となることがあります。

本機は壁掛けでも使用することができます。

壁に掛けてご使用になる場合は次ページをご覧ください。

# 壁掛けのしかた



注意



固定用具を使用



- ・壁掛けは本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。  
落下してけがの原因となることがあります。



- ・取り付け用のネジは付属されていません。壁面の強度・材質に合った取り付けネジを用意してください。またコンクリート壁など特殊な壁面に設置する場合は、専用のネジを使用してください。



- ・ネジは取り付け場所の材質や構造物に合わせてしっかりと締めてください。ネジを締めたあとは、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

木ネジ 2 本を用意してから壁に取り付けてください。

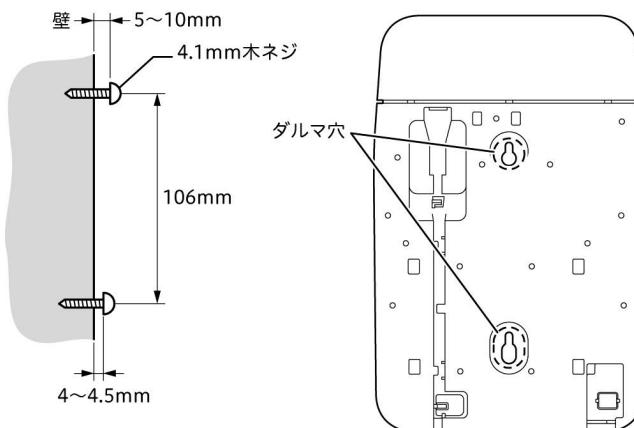
重要

- ・取り付けが不充分だと、落下して本機の破損やケガの原因となりますのでご注意ください。
- ・コンクリートなど特殊な壁に取り付ける場合は、専用のネジを用意してください。
- ・機械内部に取り付けネジ等が落下することにより火災・故障の原因となることがあります。

呼び径 4.1mm の木ネジ(丸頭) 2 本とドライバー、キリ等が必要です。

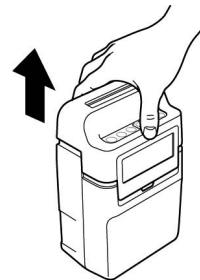
## 1 あらかじめ木ネジを壁に取り付けます

- ・本体のダルマ穴に引っ掛けるため、あらかじめ木ネジを壁に取り付けます。
- ・90~120cm 程度のところに木ネジを取り付けると使いやすい高さになります。



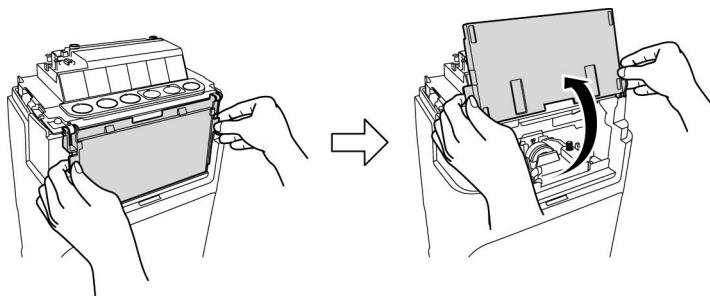
## 2 本体上部の上ケースを開けます

- ・図のように上部を持ち上げます



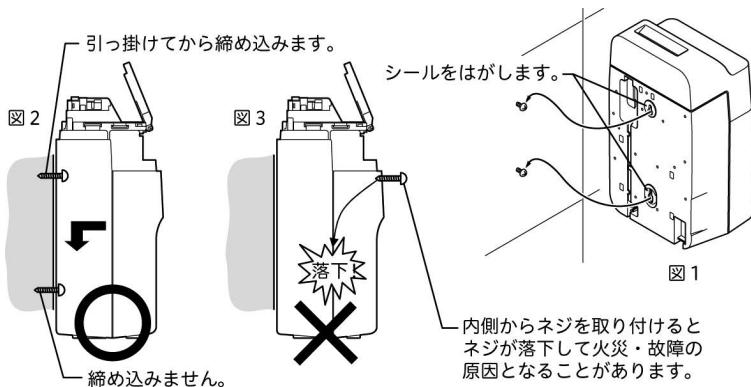
## 3 表示器を持ち上げます

- ・図のように表示器の両側にあるつまみを持ち、カチッと音がするまで持ち上げます。



## 4 本体を固定します

- ・あらかじめ壁に付けた木ネジに本体のダルマ穴を引っ掛けます。(図1参照)



- ・引っ掛けた上の木ネジを内側から確認してプラスドライバーで締め込み固定します。  
(図4参照) (下の木ネジを締め込む必要はありません)



タイムレコーダーの内側から木ネジを壁に取付けないでください。(図3参照)  
壁に取付けたネジにタイムレコーダーを引っ掛けてからネジを締めて固定します。  
機械内部にネジが落下することにより火災・故障の原因となることがあります。

## 5

最後に表示器をもとに戻し、上ケースを取り付けます

## 電源について

### 警 告



定格電圧外禁止

- ・本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。また、タコ足配線をしない。

火災、感電の原因となります。



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となります。



禁止

- ・電源コードを傷つけたり、破損しない。

また、重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電の原因となります。



分解禁止

- ・本機の上ケース以外は外さない。

内部は電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



改造禁止



プラグを抜く

- ・本機を改造しない。

火災、感電の原因となります。

- ・万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社MX-1000/3000(コネクテッドタイムレコーダー)に関するお問い合わせ窓口に連絡する。

そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社MX-1000/3000(コネクテッドタイムレコーダー)に関するお問い合わせ窓口に連絡する。

そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

### 注 意



プラグを抜く

- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



設置場所

- ・本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようになる。

万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。



禁止

- ・本機を不安定な場所に置かない。

落下して、けがの原因になることがあります。



固定用具使用

- ・壁に掛けて使用する場合、本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。

落下して、けがの原因になることがあります。

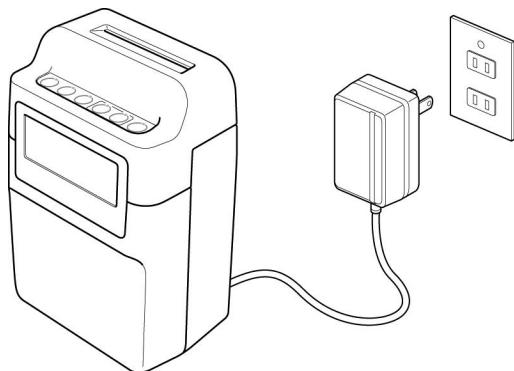


禁止

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所、ほこりの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。

火災、感電の原因となることがあります。

時計は工場出荷時に現在時刻に合わせています。  
電源プラグは電源コンセント（A C 1 0 0 V）に差し込んでください。  
時計表示が現在時刻になります。  
初期値に変更がなければ、すぐに使用できる状態になっています。



※定期的に電源プラグ付近にはほこりがたまらないよう掃除することをおすすめします。

## ■電源について■

安定した電源・電圧でご使用ください。  
電源は、終夜電源（24 時間通電）にして他の機器と独立させてください。

## ■メモリー保持機能■

リチウム電池を内蔵しているので、停電になっても内部時計は動いています。停電時や本体の移動などで、電源プラグを電源コンセントから抜いても、リチウム電池により工場出荷時から停電累計時間で3年間は、データ及び諸設定は保持されます。  
電源は終夜電源（24 時間通電）にしてください。停電時は打刻等の操作はできません。

# 付録

## MX-1000/3000 設定シート

### 共通設定

設定項目		お客様の設定	初期値	設定範囲
P-03	締日1	日	31(月末)	1~31(日)
P-04	締日2	日	20	1~31(日)
P-05	印字段切換モード		0(当日)	0(当日) / 1(前日から)
	印字段切換時刻		5:00	00:00~23:59
P-07	集計方式		1(時間帯パート+社員)	1(時間帯パート+社員・時間帯パート+集計なし・集計なし+社員) 2(フリーパート+社員・フリーパート+集計なし) 3(社員) 5(全員集計印字なし)
	最大打刻数	打刻	4(打刻)	4(4打刻) / 8(8打刻)
P-08	印字欄自動設定		1(外戻ボタン操作)	1(外戻ボタン操作) 2(ボタン操作なし)
P-11	サマータイム開始	年月日	----(設定なし)	
P-12	サマータイム終了	年月日	----(設定なし)	
P-13	曜日印字モード		1(漢字)	1(漢字) / 2(英語) / OFF(印字しない)
P-14	操作音		PI	PI(ピッ)/PIPI(ピピッ)/OFF(音なし)
P-15	徹夜退勤の検知		OFF	ON(検知する) / OFF(検知しない)
P-16	バックライト消灯開始時刻		--(常時点灯)	0~23/--(常時点灯)
	バックライト消灯終了時刻		--(常時点灯)	0~23/--(常時点灯)
P-17	1日の時間数印字		ON(印字する)	ON(印字する) / OFF(印字しない)
	累計時間数印字		ON(印字する)	ON(印字する) / OFF(印字しない)
P-24	パスワード設定		----(設定なし)	0000~9999
P-26	Wi-Fi機能		OFF(Wi-Fi無効)	ON(Wi-Fi有効) / OFF(Wi-Fi無効)
P-27	有償クラウドサービス設定 *		OFF(無効)	ON(有効) / OFF(無効)

※有償クラウドサービス設定は、本機の操作では変更できません。

そのため、本機の操作が原因で有料サービスに登録されることはありません。

弊社のクラウドサービス「コネクテッドツール」の登録・利用は無料ですが、有料サービスに登録することで、弊社のクラウドサービス「CLOUZA」と連携できます。

## 社員設定

設定項目		お客様の設定	初期値	設定範囲
P-31	まるめ方式		1 (時刻まるめ)	1 (時刻まるめ) / 2 (時間数まるめ)
	まるめ単位時間	分	1 (1分単位)	1分 / 5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 30分 / 60分
P-32	始業時刻（定時開始）		8:30	0:00～23:59
	終業時刻（定時終了）		17:00	0:00～23:59
P-33	早出時間の集計		OFF (集計しない)	ON (集計する) / OFF (集計しない)
P-34	深夜残業開始時刻		-- : -- (設定なし)	0:00～23:59 / -- : --
	深夜残業終了時刻		-- : -- (設定なし)	0:00～23:59 / -- : --
P-35	休憩1開始時刻		-- : -- (設定なし)	0:00～23:59 / -- : --
	休憩1終了時刻		-- : -- (設定なし)	0:00～23:59 / -- : --
P-36	休憩2開始時刻		-- : -- (設定なし)	0:00～23:59 / -- : --
	休憩2終了時刻		-- : -- (設定なし)	0:00～23:59 / -- : --
P-37	休憩3開始時刻		-- : -- (設定なし)	0:00～23:59 / -- : --
	休憩3終了時刻		-- : -- (設定なし)	0:00～23:59 / -- : --
P-38	休憩4開始時刻		-- : -- (設定なし)	0:00～23:59 / -- : --
	休憩4終了時刻		-- : -- (設定なし)	0:00～23:59 / -- : --
P-39	休憩5開始時刻		-- : -- (設定なし)	0:00～23:59 / -- : --
	休憩5終了時刻		-- : -- (設定なし)	0:00～23:59 / -- : --
P-41	勤務インターバル警告印字		OFF (印字しない)	ON (印字する) / OFF (印字しない)
	勤務インターバル間隔		-- : -- (設定なし)	0:00～23:59 / -- : --

## 時間帯パート設定

設定項目		お客様の設定	初期値	設定範囲
P-51	まるめ方式		1 (時刻まるめ)	1 (時刻まるめ) / 2 (時間数まるめ)
	まるめ単位時間	分	1 (1分単位)	1分 / 5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 30分 / 60分
P-52	B帯開始時刻		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --
P-53	C帯開始時刻		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --
P-54	D帯開始時刻		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --
P-55	休憩1開始時刻		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --
	休憩1終了時刻		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --
P-56	休憩2開始時刻		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --
	休憩2終了時刻		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --
P-57	休憩3開始時刻		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --
	休憩3終了時刻		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --
P-58	休憩4開始時刻		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --
	休憩4終了時刻		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --
P-59	休憩5開始時刻		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --
	休憩5終了時刻		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --

## フリーパート設定

設定項目		お客様の設定	初期値	設定範囲
P-71	まるめ単位時間	分	1 (1分単位)	1分 / 5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 30分 / 60分
P-72	所定内基準時間数		0:00	0:00 (設定なし) / 0:01~23:59
P-73	休憩基準時間1		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --
	休憩時間1		-- : -- (設定なし)	0:00~3:59 /-- : --
P-74	休憩基準時間2		-- : -- (設定なし)	0:00~23:59 /-- : --
	休憩時間2		-- : -- (設定なし)	0:00~3:59 /-- : --

# マーク印字一覧

マーク	マークの意味	社員	時間帯 パート	フリー パート	集計印字 なし
チ	遅刻(社員の始業時刻以降の出勤打刻に付加)	○	×	×	×
ソ	早退(社員の終業時刻以前の退勤打刻に付加)	○	×	×	×
ハ	早出(社員の始業時刻以前の出勤打刻に付加) ※社員設定で早出集計ありの場合	○	×	×	×
ザ	残業(社員の残業時間帯での退勤打刻、フリーパートの実働時間が所定内基準時間数を超えた場合の退勤打刻に付加)	○	×	○	×
ガ	私用外出(社員が平日定時帯内に(外)ボタンを押して打刻した場合に付加)	○	×	×	×
テ	徹夜(印字段切換時刻を過ぎての退勤時に(徹)ボタンを押して打刻した場合に付加)	○	○	○	○
ト	特別日((特)ボタンを押して打刻した場合に付加)	○	○	○	○
ツ	徹夜 + 特別日((徹)ボタンと(特)ボタンの両方を押して打刻した場合に付加)	○	○	○	○
X	日の時間集計未集計(集計できない打刻パターンでボタンを押して印字欄を指定した場合に付加。このマークが付加された日は集計されません) (63 ページ)	○	○	○	×
#	勤務インターバル警告を検出した場合に付加	○	×	×	×
>	時計合わせ操作で時計が変更された場合に付加	○	○	○	○
!	コネクテッドツールへ送信できずに打刻データが消失した場合に付加	○	○	○	○
社	社員集計(社員登録したタイムカードの集計欄に付加) (75 ページ)	○	×	×	×
C P	時間帯パート集計(時間帯パートのタイムカードの集計欄に付加) (75 ページ)	×	○	×	×
F P	フリーパート集計(フリーパートのタイムカードの集計欄に付加) (75 ページ)	×	×	○	×
前	前月の集計(74 ページ)	○	○	○	×
当	当月の集計 または当月のカード登録(69 ページ)	○	○	○	○
来	来月のカード登録(69 ページ)	○	○	○	○

## 設定内容の印字例

- ・タイムカードに印字された設定内容は、項目の番号と設定された値で構成されています。
- ・設定されていない値は、“\*\*”で印字されます。
- ・設定内容は2面分印字されます。

《1面の印字内容》

	出 IN	退 OUT	出 IN	退 OUT	
CPU部番6桁	123400			20.12.31 23:59	(印字した年月日時分)
			(項目の番号)		(設定された値)
締日1	0 31		3 20		締日2
印字段切換モード	0 0	5:00	0 1	4	集計方式 最大打刻数
印字段切換時刻			0 1		印字欄自動設定
サマータイム開始	*****		*****		サマータイム終了
曜日印字モード	0 1		API		操作音
徹夜退勤の検知	OFF		*****	***	バックライト消灯
1日の時間数印字	ON	ON			開始・終了時刻
累計時間数印字					
パスワード設定	*****		OFF		Wi-Fi設定
			OFF		有償クラウドサービス 設定

《2面の印字内容》

	出 IN	退 OUT	出 IN	退 OUT	
社員まるめ方式	10	1		8:00	17:30
社員まるめ単位時間					
早出時間の集計	OFF				
社員休憩 1	*****	***		*****	***
社員休憩 3	*****	**		*****	**
社員休憩 5	*****	**			
勤務インターバル警告	OFF	***			
勤務インターバル間隔					
時間帯パートまるめ方式	10	1		*****	
時間帯パートまるめ単位時間					
C帯開始時刻	*****			*****	
時間帯パート休憩 1	*****	**		*****	**
時間帯パート休憩 3	*****	**		*****	**
時間帯パート休憩 5	*****	**			
フリーパートまるめ単位時間	1			0:00	
フリーパート休憩 1	*****	**		*****	**

# 用語集

## この取扱説明書で使われる専門用語

- 締日 :** 締日設定により、タイムカード最終段（赤色の印刷面の最下段）が設定した日となるように印字されます。
- 印字段切換時刻 :** タイムレコーダー上の1日の開始時刻です。設定したこの時刻を境に、印字段が切り換わります。（初期値は午前 5:00 です。）なお、この時刻をまたいで勤務しても、退勤時に徹夜ボタンを押してタイムカードを差し込めば、前日と同じ段に印字します。
- サマータイム :** 日本国内で、サマータイムが導入されたときに登録してください。  
開始日と終了日と同じ日付にすると「サマータイムなし」となります。  
サマータイムを設定した場合、開始日の午前 2:00 に1時間、時計時刻が進みます。  
また、終了日の午前 2:00 に1時間、時計時刻が戻ります。
- 集計方式 :** 本機は社員での集計の他に、“時間帯パート”と“フリーパート”的2種類の集計方式が設定できます。  
おのおの実働時間の集計方法が違います。タイムカードには退勤時に（休憩時間をさし引いた）1日の実働時間数を集計して印字します。
- 時間帯パート :** 時間帯別に時給が違うパート、アルバイトの管理に適した集計方式です。  
1日を最大4つの時間帯に区分でき、おのおの時間帯ごとに集計ができます。
- フリーパート :** 所定内基準時間を設定し、基準時間数を超えた分は時間外勤務として集計します。
- 集計印字なし :** この集計方式を指定した場合、集計機能は働きません。タイムカードには打刻時刻のみ印字します。  
共通設定カード2の「集計印字」で「③しない」を指定した場合は、社員設定カード／時間帯パート設定カード、フリーパート設定カード各項目の設定は不要です。
- まるめ単位時間 :** 日ごとの勤務時間を集計する際の切上げ、切捨て（まるめ）の単位となる時間数です。  
まるめ単位時間を15分とした場合、15分単位で集計結果がまるめられます。
- 所定内基準時間数 :** フリーパートの実働時間集計で時間外（残業）集計のために設定します。
- 徹夜勤務 :** 退勤時に（徹）ボタンを押してタイムカードを差し込むと、印字段切換時刻を過ぎていても、出勤と同じ日の段に退勤時刻と“テ”マークを印字します。なお、特別日の徹夜は“ツ”マークを印字します。
- 特別日 :** 出勤時に（特）ボタンを押してタイムカードを差し込むと、出勤時刻と“ト”マークを印字して、平日勤務時と別集計されます。

# 仕様

使用タイムカード	: MX・MRX カード
表示器	: デジタル液晶表示器
プリンター部	: 9ピンドットインパクトプリンター
時計方式	: 水晶発振方式 週差±3秒以内 (25°C±5°C 通電時)
メモリ保持機能	: 時計および設定データに対し、工場出荷時より停電累積時間で3年間 保持 (リチウム電池内蔵)
集計データ	: (社員、パートを合わせて) 最大 60 人
設置方式	: 台置き (壁掛け可能)
周囲環境条件 (屋内設置)	: 温度 -10°C~40°C 湿度 30% R H~90% R H (結露のないこと)
電源	: 入力 AC100V±10% (50/60Hz) /出力 DC12V、2A (付属の AC アダプターを使用すること)
外形寸法	: 幅 156mm × 奥行 100mm × 高さ 236mm
消費電力	: 待機時 0.1A (1W) 最大 1.7A (16W)
質量 (重量)	: 1.1kg (AC アダプター含む)

## 商標について

Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Android および Google Chrome は、Google LLC.の商標または登録商標です。

Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

Firefox は、Mozilla Foundation の米国およびその他の国における登録商標です。